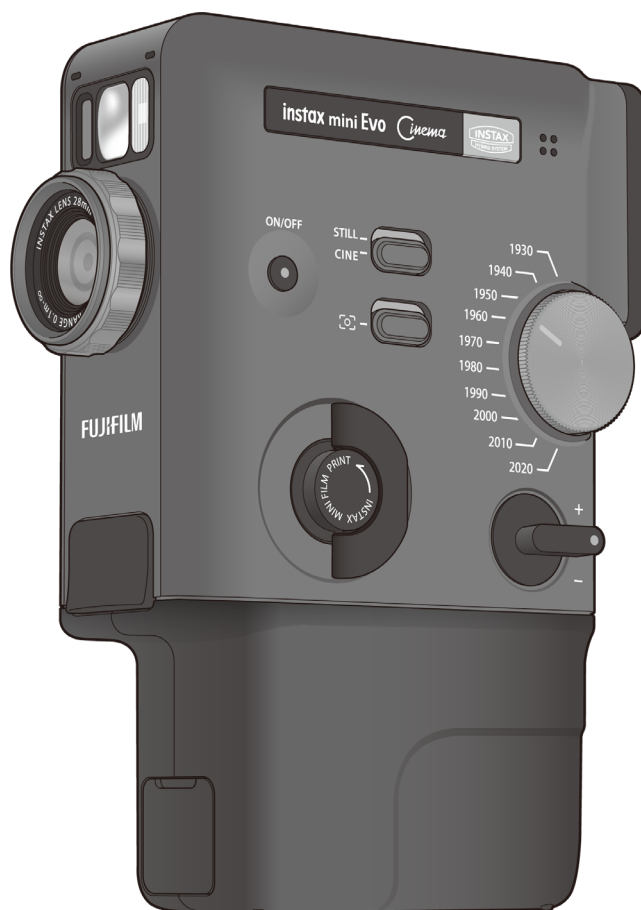


**FUJIFILM**

# instax mini Evo Cinema<sup>TM</sup>

HYBRID INSTANT CAMERA

## 使用説明書（詳細）



- カメラの機能、仕様はファームウェアのバージョンアップにより、変更される可能性があります。
- ファームウェアをバージョンアップする方法は2通りあります。詳しくは「ファームウェアをバージョンアップする」を参照してください。（41 ページ）

## 目次

カメラの準備 .....	4
カメラをお使いになる前に .....	4
ハンドストラップを取り付ける .....	5
ファインダーアタッチメントを取り付ける .....	6
グリップアタッチメントを取り付ける .....	6
各部の名称 .....	7
液晶モニターの表示 .....	8
セレクトボタン/コマンドダイヤルの使いかた .....	10
メモリーカードを使用する .....	10
メモリーカードを入れる .....	11
メモリーカードを取り出す .....	11
充電する .....	12
電源オフ時の充電状態の表示について .....	12
フィルムカートリッジを入れる .....	13
⚠ フィルムカートリッジを取り出す .....	14
電源を入れる/切る .....	14
バッテリー残量の確認方法 .....	14
言語と日時を設定する .....	15
ペアリング設定 .....	16
撮影する .....	18
撮影について .....	18
撮影時の注意 .....	18
動画撮影 .....	18
静止画撮影 .....	18
動画を撮影する .....	19
ダイレクトメニューから動画を保存する .....	20
撮影時のシャッター操作方法を変更する .....	21
高画質モードで撮影する .....	21
静止画を撮影する .....	22
AF/AEロックを使用して撮影する .....	23
撮影情報を見る .....	24
ジダイヤル™エフェクト .....	25
ジダイヤル™エフェクトのフレーム .....	25

いろいろな撮影 — ダイレクトメニュー .....	26
ダイレクトメニューを表示する .....	26
露出を補正する (動画/静止画) .....	26
効果音の音量を調整する (動画) .....	27
ビデオライトを使用する (動画) .....	27
セルフタイマーを使用して撮影する (静止画) ...	28
フラッシュを使用する (静止画) .....	28
ホワイトバランスを設定する (静止画) .....	29
ピントを合わせやすくする (静止画) .....	29
再生する .....	30
撮影した動画を再生する .....	30
撮影した静止画を再生する .....	30
動画の再生音量を調節する .....	31
動画/静止画を削除する .....	32
1枚表示のとき .....	32
4枚表示のとき .....	32
動画/静止画をすべて削除する .....	33
撮影情報を見る .....	33
プリントする .....	34
動画からプリントする .....	34
静止画をプリントする .....	35
フィルム残量表示について .....	36
プリント画像の画質と明るさを設定する .....	36
プリント画像の画質を選ぶ .....	36
プリント画像の明るさを選ぶ .....	37
撮影データについて .....	38
撮影データの保存先 .....	38
メモリーカードを挿入しない場合 .....	38
メモリーカードを挿入した場合 .....	38
動画/静止画撮影可能枚数 .....	38
撮影可能枚数 .....	38
設定メニュー .....	39
設定メニューの操作と項目 .....	39
設定メニューの項目 .....	39
アプリについて .....	42
スマートフォンアプリ連携で使える機能 .....	42

スマートフォンアプリを設定する .....	42
その他の情報 .....	44
仕様 .....	44
このようなときは .....	45
安全にご使用いただくために .....	46
取扱上のお願い.....	47
無線LAN/Bluetooth® 機器使用上の注意事項 ...	48
カメラを廃棄するときの注意 .....	49
小形充電式電池のリサイクルについて.....	49
バッテリーを取り外す .....	49
アフターサービスについて .....	49
個人情報の取扱について .....	50

### **フィルムカートリッジの取り扱いに関する注意**

フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。  
途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

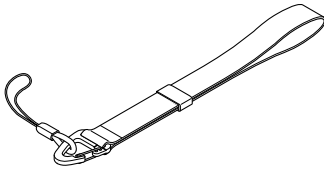
# カメラの準備

## カメラをお使いになる前に

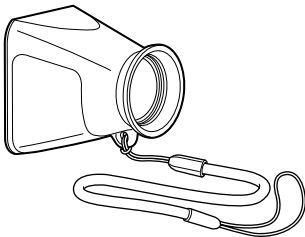
カメラをお使いになる前に、以下を確認してください。

### 付属品一覧

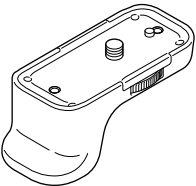
- USB Type-Cケーブル(1本)(B038A34001)
- ハンドストラップ(1セット)



- ファインダーアタッチメント [ストラップ付き] (1)



- グリップアタッチメント (1)



- 使用説明書 (1)

- ハンドストラップは手首に掛けて使用し、首には掛けしないでください。
- ハンドストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。
- ❶ お買い上げ直後は、充電が必要な状態です。使用前にフル充電をしてからご使用ください。
- ❷ 付属の USB Type-C ケーブルは充電専用です。
- ❸ 本製品には、内部温度が安全な動作範囲を超えた場合に、自動的に電源をオフにする安全保護機能が搭載されています。これは、デバイスの損傷や安全上のリスクを防ぐための正常な動作です。使用を再開したい場合は、カメラの温度が十分に下がったことを確認してから電源を入れ直してください。

カメラを安全に使用するために、「安全にご使用いただくために」(46ページ)をお読みください。

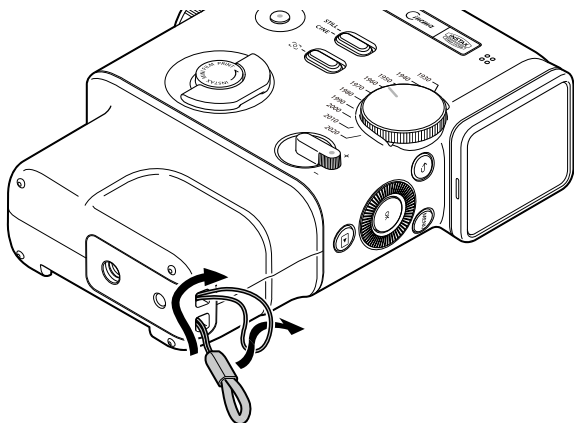


# カメラの準備

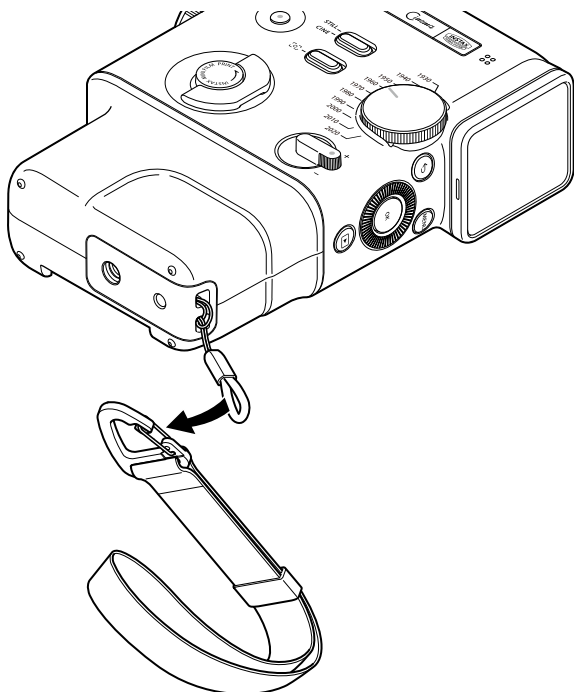
## ハンドストラップを取り付ける

以下の手順でハンドストラップをカメラ本体に取り付けます。

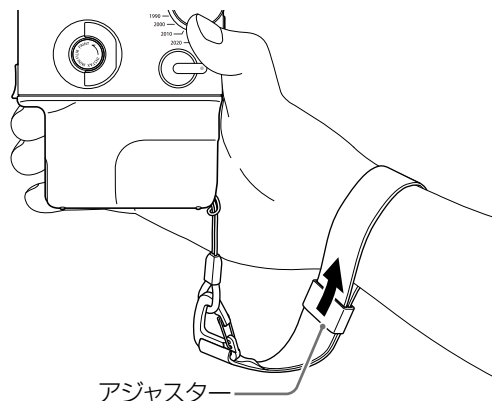
- 1 ハンドストラップに付いている短いストラップと長いストラップをハンドストラップからはずす
- 2 短いストラップをカメラのストラップフックに通す



- 3 ハンドストラップのカラビナに短いストラップを取り付ける



- 4 ハンドストラップを手首に通し、アジャスターで調整する



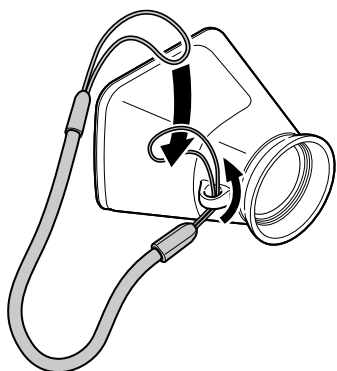
- ・カメラが落ちないように、アジャスターを調整してください。

# カメラの準備

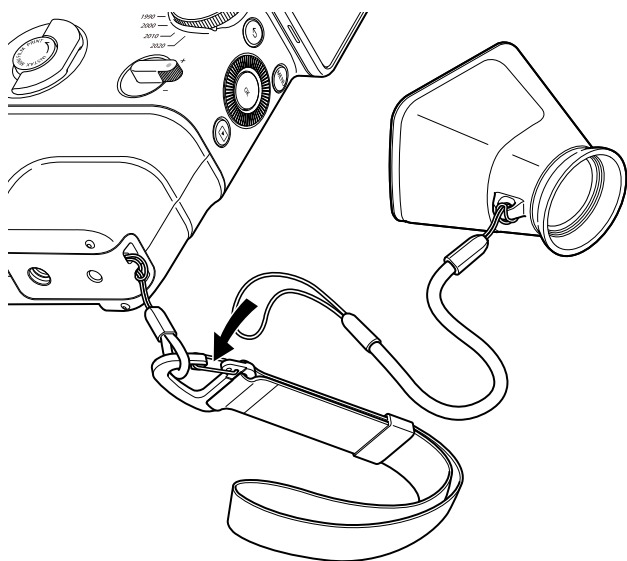
## ファインダーアタッチメントを取り付ける

以下の手順でファインダーアタッチメントをカメラ本体に取り付けます。液晶モニターの手前に取り付けると、ファインダーをのぞきこむように撮影できます。

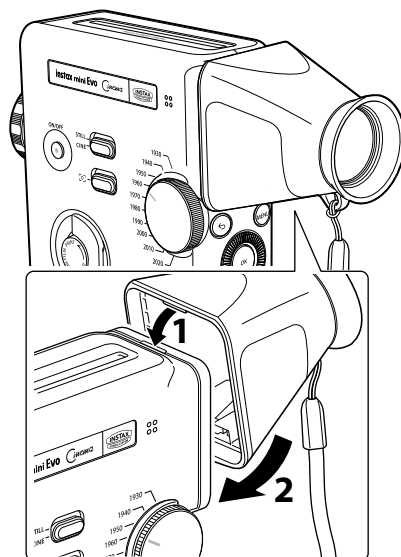
- 1 長いストラップをハンドストラップからはずして、ファインダーアタッチメントのフックに通す



- 2 カラビナに長いストラップを通す



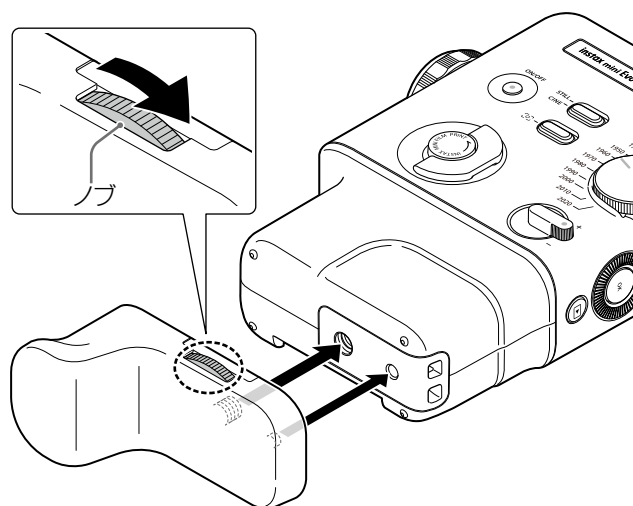
- 3 ファインダーアタッチメントを斜めからかぶせて取り付ける



- ・液晶モニターの上にある溝にファインダーアタッチメントの上にある突起が合うように取り付けてください。

## グリップアタッチメントを取り付ける

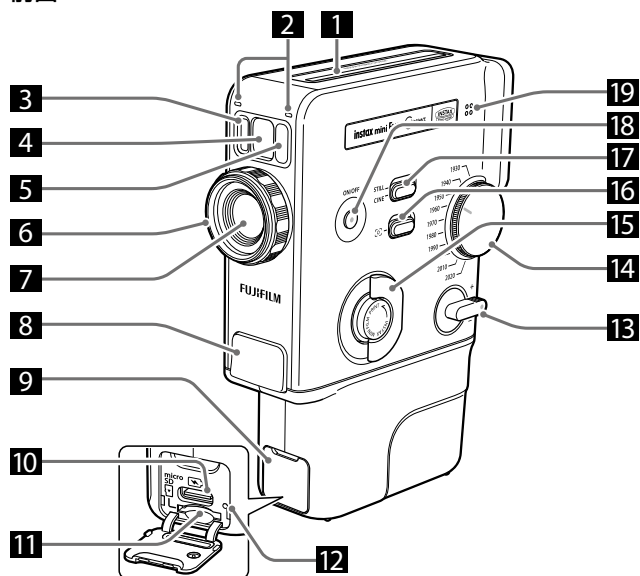
グリップアタッチメントを取り付けると、カメラを持ちやすくなります。取り付ける際はノブを回して固定してください。



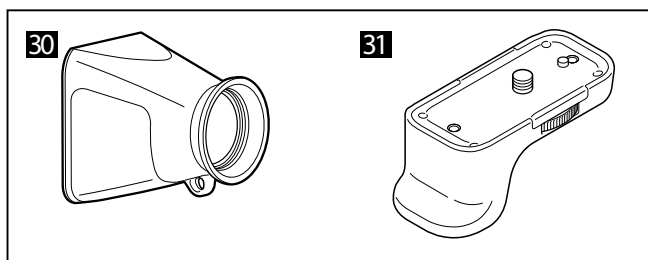
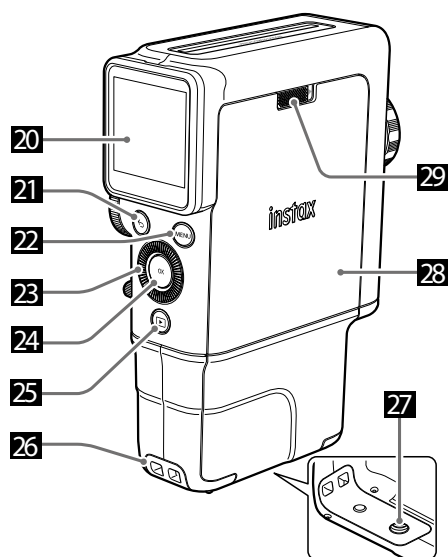
# カメラの準備

## 各部の名称

### 前面



### 背面



- 1 フィルム排出口
- 2 マイク
- 3 録画ランプ/セルフタイマーランプ/充電ランプ  
設定に応じて点灯、点滅します。動画撮影時は点灯し、セルフタイマーを使用して撮影するときは点滅します。  
また、充電中に点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 4 セルフィーミラー  
セルフィーミラーに被写体を写し、構図を確認して撮影できます。
- 5 フラッシュ  
設定に応じてフラッシュが発光します。
- 6 度合い調整ダイヤル  
ジダイヤル™エフェクトの度合いを調整します。
- 7 レンズ
- 8 シャッターボタン  
構図を決め、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。ピントが合ったことを確認したら、そのまま全押しして撮影します。
- 9 USB端子& micro SDカードスロットカバー
- 10 USB Type-C端子  
充電を行うためのUSB端子です。USB端子を使用したデータ転送はできません。
- 11 micro SDカードスロット
- 12 リセットボタン  
カメラが正常に動作しない場合に押すと、強制的に電源が切れます。カメラが正常に動作しているときに使用しないでください。撮影データが失われる場合があります。
- 13 ズームレバー  
+の方向へ倒すとズームイン、-の方向へ倒すとズームアウトします。
- 14 ジダイヤル™  
10種類のジダイヤル™エフェクトを切り替えます。
- 15 プリントレバー  
ノブを立ち上げて反時計回りに90度回してプリントします。
- 16 フレームスイッチ  
選択しているジダイヤル™エフェクトに合わせたフレームのオン/オフを切り替えます。
- 17 CINE/STILLモードスイッチ  
動画撮影(CINE)と静止画撮影(STILL)を切り替えます。
- 18 電源ボタン  
電源ボタンを約1秒間長押しして、電源をオンまたはオフにします。  
一定時間操作を行わなかった場合、カメラの電源が自動的に切れます。  
カメラの電源が自動的に切れたときは、再度電源ボタンを押すと電源が入ります。
- 19 スピーカー

# カメラの準備

## 20 液晶モニター

## 21 戻るボタン

## 22 MENUボタン

## 23 セレクトボタン/コマンドダイヤル

## 24 OKボタン

## 25 再生ボタン

撮影した動画/静止画を液晶モニターで再生できます。シャッターボタンを全押しすると撮影画面に戻ります。

## 26 ストラップフック

## 27 三脚穴

グリップアタッチメント(付属品)や三脚を取り付けられます。

## 28 フィルムドア

フィルムカートリッジ出し入れ時はフィルムドアロックをスライドしてロックを外し、フィルムドアを持ち上げます。

フィルムを使い切るまではフィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

## 29 フィルムドアロック

## 30 ファインダーアタッチメント(付属品)

液晶モニターの手前に取り付けると、ファインダーをのぞくように撮影できます。取り付ける際は液晶モニターの上部にある溝にファインダーアタッチメントの上部にある突起が合うように取り付けてください。

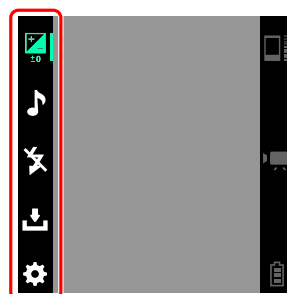
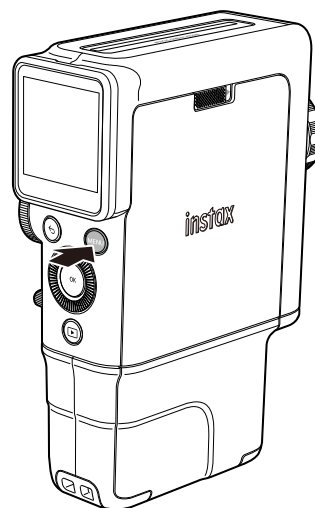
## 31 グリップアタッチメント(付属品)

カメラの三脚穴に取り付けて、カメラを持ちやすくなります。取り付ける際はノブを回して固定してください。

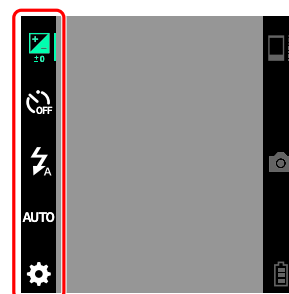
## 液晶モニターの表示

電源を入れると液晶モニターに撮影画面が表示されます。再生ボタンを押すと、撮影画面と再生画面を切り替えることができます。

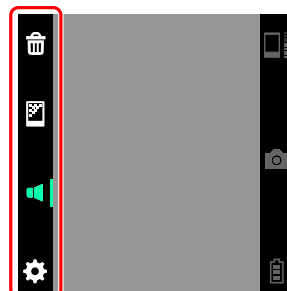
MENUボタンを押すと、**ダイレクトメニュー**が表示されます。



動画撮影モード



静止画撮影モード



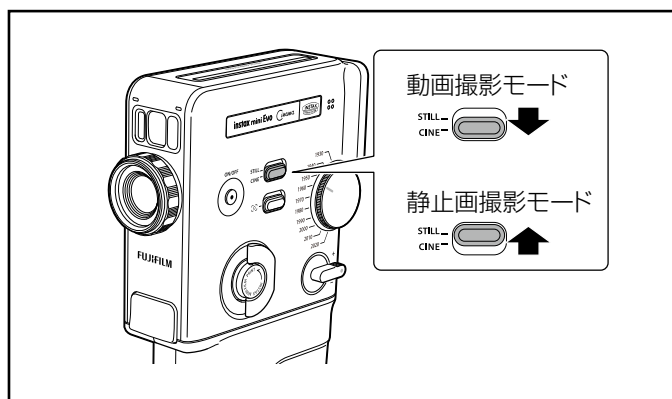
再生モード

# カメラの準備

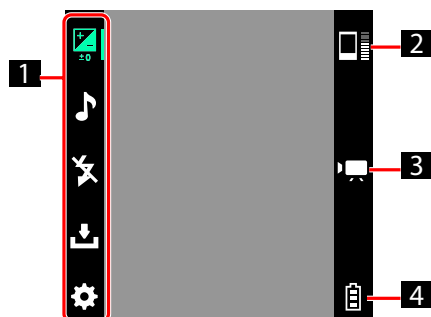
## ■撮影画面

液晶モニターで被写体を確認できます。この状態を**撮影モード**と呼びます。

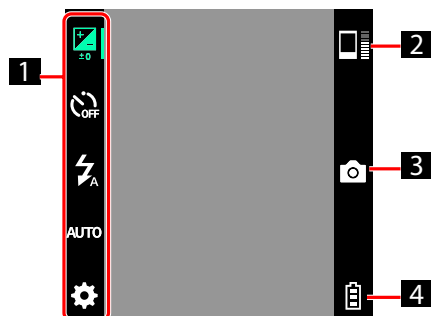
CINE/STILLモードスイッチの位置で動画撮影モードと静止画撮影モードが切り替わります。



### 動画撮影モード



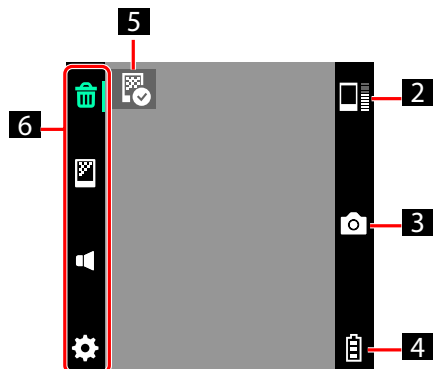
### 静止画撮影モード



## ■再生画面

撮影モード時に再生ボタンを押すと、撮影済みの動画/静止画が表示されます。この状態を**再生モード**と呼びます。

### 再生モード



### ・操作ガイド



#### 1 ダイレクトメニュー(撮影モード)

MENUボタンを押すと、液晶モニターの左側に表示されます。セルフタイマーやフラッシュ、明るさの調整など、撮影時の設定が可能です。

#### 2 フィルム残量

#### 3 動画/静止画モード表示

#### 4 バッテリー残量

#### 5 プリント済みマーク

プリント済みの画像には、このマークが表示されます。

#### 6 ダイレクトメニュー(再生モード)

MENUボタンを押すと、液晶モニターの左側に表示されます。画質、明るさなど、再生/プリント時の画像調整が可能です。

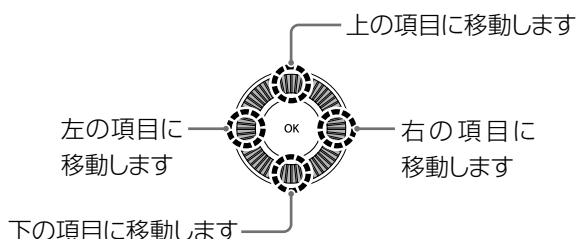
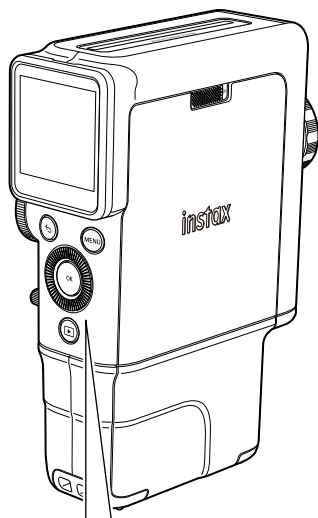
#### 7 操作ガイド

画面に応じた操作ガイドが表示されます。

# カメラの準備

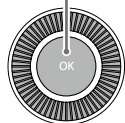
## セレクトボタン/コマンドダイヤルの使いかた

セレクトボタン/コマンドダイヤルでメニューの選択や項目の移動ができます。セレクトボタンは上下左右のボタンを押して、コマンドダイヤルはダイヤルを回して操作します。



- 露出や音量の設定では、時計回りでプラス側、反時計回りでマイナス側へ調整します。

OKボタンを押して、  
選択した項目を決定  
します。



## メモリーカードを使用する

本機は内蔵メモリーに約 10 本（通常時。高画質モードは保存不可）の動画または約 50 枚の静止画を保存できますが、メモリーカードを使用すると、より多くの動画 / 静止画を保存できます。

### メモリーカードについての注意

- このカメラに対応しているメモリーカードは micro SD メモリーカードまたは micro SDHC メモリーカード、micro SDXC メモリーカード（～ 256GB）です。指定以外のメモリーカードをご使用になると、カメラの故障の原因になります。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 削除中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このようなときはいったん電源を切ってから、電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどにメモリーカードを入れないでください。座ったときに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間で使った後、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにラベルなどを貼らないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。

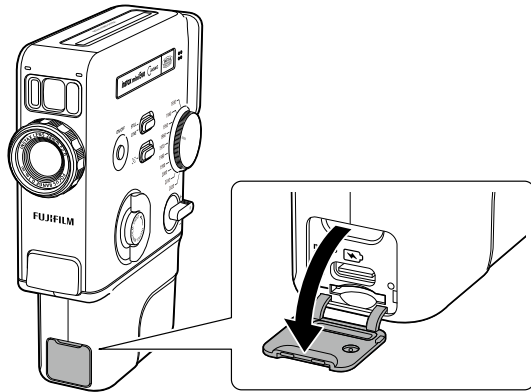
### メモリーカードを PC で使用する場合の注意

- 未使用のメモリーカードや、PC やその他の機器で使ったメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。
- メモリーカードをカメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。PC でメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、削除などの操作を行わないでください。メモリーカードをカメラで使用できなくなることがあります。
- メモリーカード内の動画 / 静止画ファイルの削除は PC で行わないでください。必ずカメラで行ってください。
- 動画 / 静止画ファイルを編集する場合は、ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動してから編集してください。

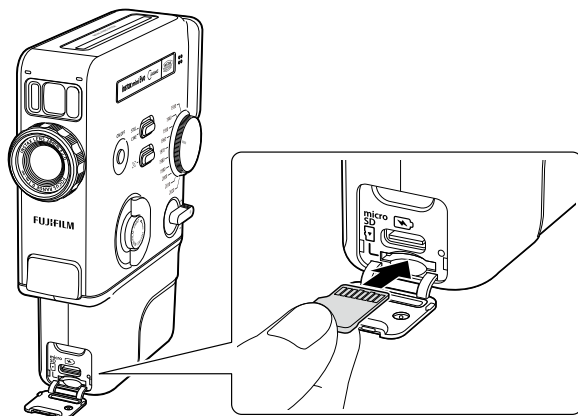
# カメラの準備

## メモリーカードを入れる

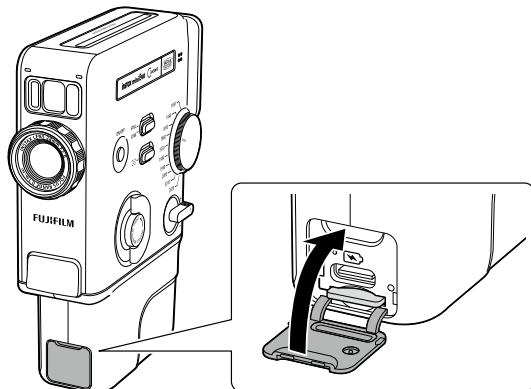
### 1 カードスロットカバーを開ける



### 2 図のように正しい向きで、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを奥まで差し込む

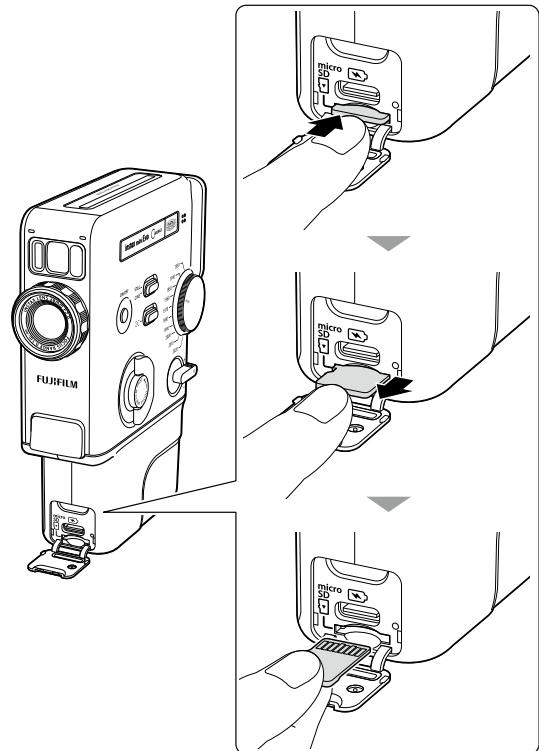


### 3 カードスロットカバーを閉じる



## メモリーカードを取り出す

メモリーカードを取り出す際は、カードスロットから飛び出さないよう、指で抑えながら取り出してください。



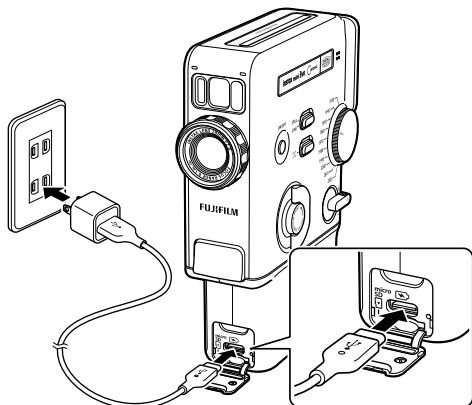
- メモリーカードを取り出すときは、メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻してください。ロックが外れて、取り出すことができます。

メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に離すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに離してください。



# カメラの準備

## 充電する



カメラと USB 電源アダプタを、付属の USB Type-C ケーブルで接続し、USB 電源アダプタを屋内のコンセントにつなぎます。

- 充電時間の目安は約 2 ～ 3 時間です。
- 本機の受入電力は最小 2.5W ～最大 5W となっております。仕様に合った充電器をご利用ください。

### 電源オフ時の充電状態の表示について

充電中	充電ランプが点灯します。
充電完了	充電ランプが消灯します。
充電エラー	充電ランプが点滅します。

### PCから充電するときは:

- USBハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとPCを接続してください。
- 充電中にPCが休止状態(スリープ状態)になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、PCの休止状態(スリープ状態)を解除した後、USB Type-Cケーブルを接続し直してください。
- PCの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- 付属のUSB Type-Cケーブルは充電専用です。

### ご注意

- お買い上げ直後は、充電が必要な状態です。使用前にフル充電をしてからご使用ください。
- バッテリーについてのご注意は「取扱上のお願い」を参照してください。(47ページ)



# カメラの準備

## フィルムカートリッジを入れる

### 注意

フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

- フィルムカートリッジを入れるときは、フィルムカートリッジ背面の2カ所の長方形の穴は絶対に押さないでください。
- 有効期限を過ぎたフィルムは絶対に使用しないでください（故障の原因となります）。

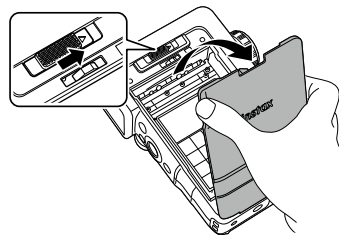
富士フィルム インスタントフィルム instax™ miniをご使用ください。instax™ SQUAREフィルムやinstax™ WIDEフィルムはご使用になれませんので、ご注意ください。

### フィルムカートリッジについて

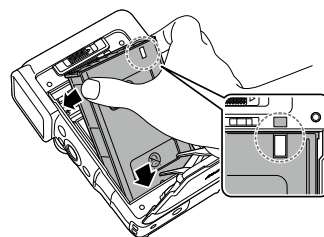
- フィルムカートリッジには黒いフィルムカバー1枚と10枚のフィルムが収納されています。
- フィルムカートリッジはカメラに入れる直前に内装袋から取り出してください。
- フィルムドアを閉めると、フィルムカバーが自動的に排出されます。

詳細は、富士フィルム インスタントフィルム instax™ miniの取扱説明書を参照してください。

- 1 フィルムドアロックをスライドさせたまま、フィルムドアを持ち上げる

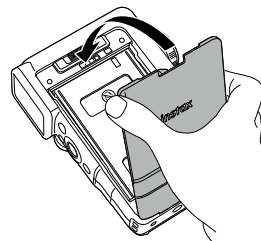


- 2 フィルムカートリッジの黄色のマークとカメラ内部の黄色のマークを合わせ、フィルムパックを入れる



- 3 フィルムドアを閉じる

フィルムドアのロックがかかるまで押し込んでください。



- 4 自動的に排出される黒いフィルムカバーを取り除く



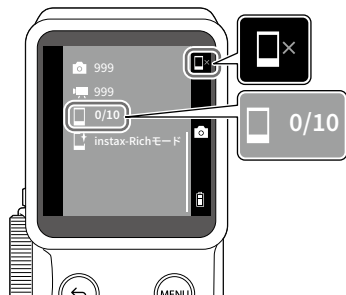
# カメラの準備

## ⚠ フィルムカートリッジを取り出す

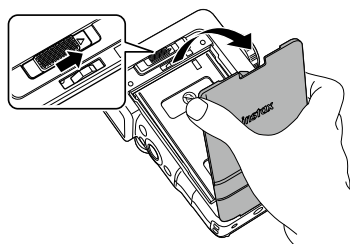
### 注意

フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

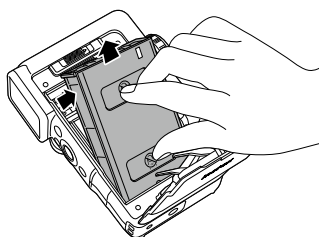
- 1 液晶モニターでフィルムを使い切ったことを確認する



- 2 フィルムドアロックをスライドしてから、フィルムドアを持ち上げる

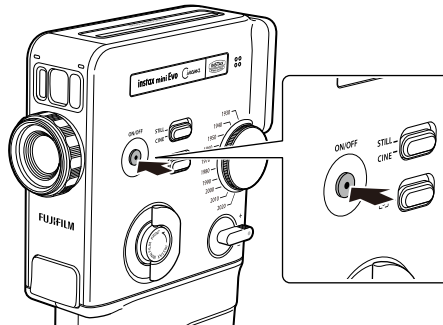


- 3 フィルムカートリッジの穴をつまみ、フィルムカートリッジを引き出す



## 電源を入れる/切る

電源ボタンを約1秒間長押しして、電源をオンまたはオフにします。



### ご注意

- 一定時間操作を行わなかった場合、カメラの電源が自動的に切れます。カメラの電源が自動的に切れたときは、電源ボタンを押すと電源が入ります。
- 電源が切れるまでの時間は、設定メニューの[自動電源OFF]で設定できます。(39ページ)

## バッテリー残量の確認方法

液晶モニターの右下にバッテリー残量が表示されます。

表示	バッテリーの残量
	残量が十分にあります。
	残量が半分以下です。充電することをお勧めします。
	残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。

- バッテリー残量が不足すると、液晶モニター中央にアイコン が表示され、電源が切れます。

# カメラの準備

## 言語と日時を設定する

ご購入後初めて電源を入れると、使用する言語や日時を設定する画面が自動で表示されます。

この設定はあとで行うこともできます。あとで設定する場合や設定をやり直したい場合は、設定メニューの【言語 /LANG.】、【日時設定】から行ってください。

### 1 電源を入れる

- ご購入後に初めて電源を入れたときは、言語設定画面が表示されます。

### 2 使用する言語を設定する



### 3 年月日の並び順を設定する



### 4 年月日を設定する



### 5 時分を設定する

言語と日時の設定が完了します。



# カメラの準備

## ペアリング設定

スマートフォンアプリ「instax mini Evo™」と連携するとさまざまな機能が利用できます。アプリと連携するために、スマートフォンとペアリングを行ってください。

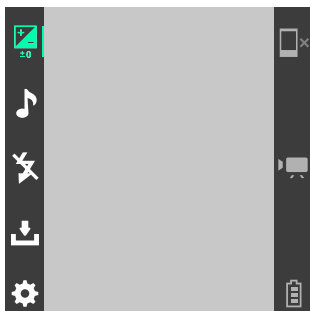
詳しくは、「スマートフォンアプリを設定する」(p.42)を参照してください。

- あらかじめ、お使いのスマートフォンのBluetooth通信ができる状態にしておいてください。

## カメラ

### 1 カメラの MENU ボタンを押す

ダイレクトメニューが表示されます。



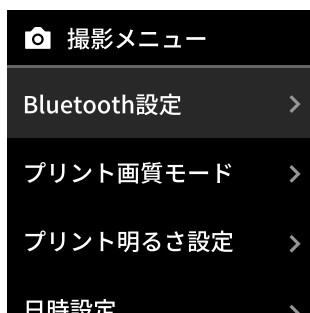
### 2 [⚙️] を選ぶ

設定メニューが表示されます。



### 3 [Bluetooth 設定] を選ぶ

[Bluetooth 設定] 画面が表示されます。



### 4 [ペアリング登録] を選ぶ

[ペアリング登録] 画面が表示されます。



## スマートフォン

### 5 スマートフォンアプリ「instax mini Evo™」を起動する

### 6 スマートフォンアプリの [📷📱] をタップする



# カメラの準備

## 7 表示された画面で、カメラの本体名称を確認して、スマートフォンアプリの [ 接続 ] をタップする

- Androidはペア設定リクエストが通知されます。iOSでは、ペア設定コードが表示されます。



## カメラ/スマートフォン

## 8 カメラとスマートフォンに表示されている 6 桁の数字が一致していることを確認して、ペアリングを許可する

- カメラ: OK ボタンを押します。



- スマートフォン: [ペア設定する] をタップします。



- スマートフォンの機種によっては、異なる画面が表示される場合があります。

## 9 ペアリング登録が完了します

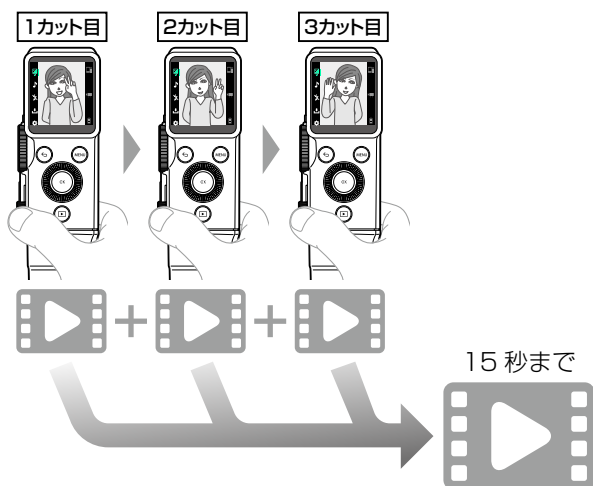
# 撮影する

## 撮影について

このカメラは、動画 / 静止画を撮影することができます。

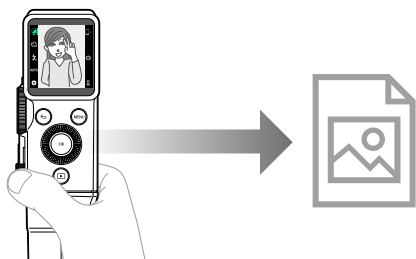
### 動画撮影

最大 15 秒までの動画を複数のカットに分けながら撮影できます。



### 静止画撮影

ジダイヤル™ エフェクトを使って、様々な効果を加えた静止画を撮影できます。



## 撮影時の注意

- 撮影するときは脇を締め、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- シャッターボタンを押すときは、カメラレンズに触れないように注意してください。
- シャッターボタンを全押しするときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込んでください。
- 指やハンドストラップがフラッシュ、レンズに掛からないように注意してください。
- 暗い場所または逆光時は、シャッターボタンを全押ししたときにフラッシュが発光することがあります。フラッシュが発光しないように、フラッシュの設定を変更できます。28 ページの「フラッシュを使用する（静止画）」をご覧ください。

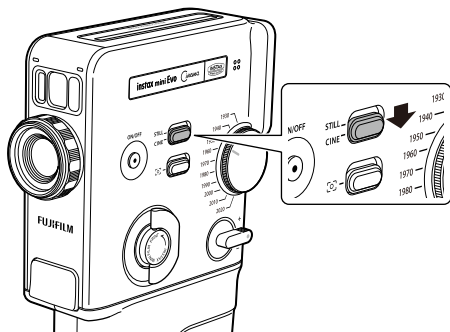
## 内蔵メモリーについての注意

- 内蔵メモリーがいっぱいになると、シャッターが切れず、撮影ができません。動画 / 静止画を削除するか、メモリーカードを使用してください。
- 内蔵メモリー内の動画 / 静止画は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失したりすることがあります。
- 大切な動画 / 静止画は、別途バックアップ保存されることをお勧めします。
- カメラを修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

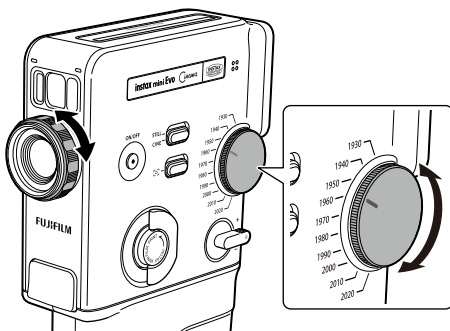
## 動画を撮影する

基本的な動画撮影の手順を説明します。

### 1 電源を入れ、CINE/STILL モードスイッチを「CINE」にする

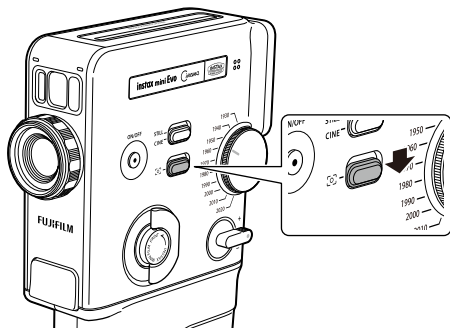


### 2 ジダイヤル™でジダイヤル™エフェクトを選び、度合い調整ダイヤルで度合いを調整する 10種類のジダイヤル™エフェクトと、それぞれの度合いを選択します。



ジダイヤル™エフェクトについて詳しくは、25ページの「ジダイヤル™エフェクト」をご覧ください。

### 3 ジダイヤル™エフェクトのフレームを適用する場合は、フレームスイッチをオンにする

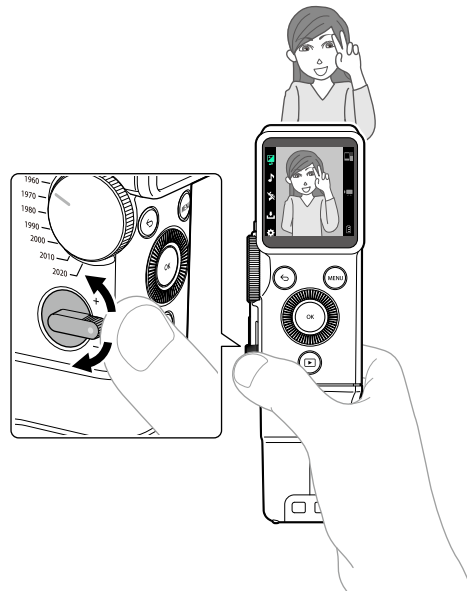


- ・フレームスイッチを下(緑色が見える位置)にスライドします。

### 4 カメラを構える

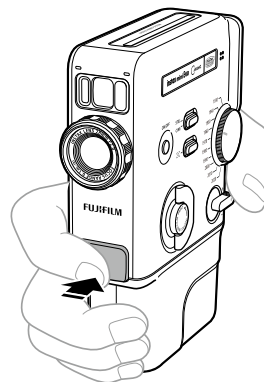
### 5 構図を決める

ズームレバーを上下に動かして、構図を調節します（ズーム機能）。"+"方向に動かすと遠くの被写体を大きく写し、"- "方向に動かすと広い範囲が写ります。  
動画撮影中もズームレバーの操作は可能です。

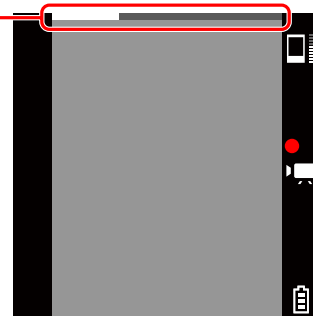


### 6 シャッターボタンを長押しして撮影を開始する

シャッターボタンを押している間、動画を撮影します。



経過時間がゲージが表示されます。残り3秒になると、ゲージが赤くなり、残り1秒になると点滅します。



- ・動画の長さが合計で15秒になると、撮影は自動的に停止します。
- ・動画撮影時のシャッターボタンの操作方法は、撮影メニューの「動画時シャッター操作」で変更できます。

# 撮影する

## 7 シャッターボタンから指を離す

動画撮影を一時停止し、直前に撮影したカットが再生されます。



## 8 次の操作を選択する

### ■ 次のカットをつづけて撮影する

シャッターボタンを半押しすると、次のカットを撮影するための準備画面に戻ります。

手順6～8を繰り返してください。

- ・準備画面では、ジダイヤル™エフェクトの再設定が可能です。
- ・準備画面に移行した後、直前に撮影した動画までを保存したい場合は、ダイレクトメニューから「保存して終了」を選択してください。

### ■ 撮影を終了して保存する

OKボタンを押すと、ここまでに撮影した動画が内蔵メモリーまたはメモリーカードに保存されます。

### ■ 直前のカットを撮りなおす

戻るボタンを押すと、直前に撮影したカットを削除し、再度撮影できます。

## ダイレクトメニューから動画を保存する

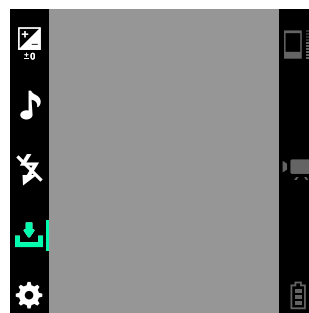
動画を保存しないでシャッターボタンを半押しした場合、ダイレクトメニューから保存することができます。

### 1 MENU ボタンを押す

ダイレクトメニューが表示されます。

### 2 [↓] を選ぶ

ここまでに撮影した動画が内蔵メモリーまたはメモリーカードに保存されます。





# 撮影する

## 撮影時のシャッター操作方法を変更する

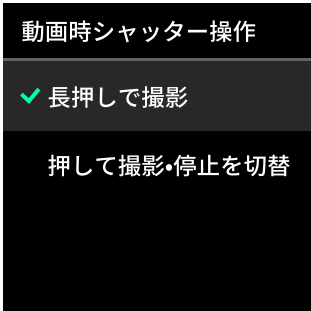
撮影メニューで、動画撮影時のシャッターボタンの操作方法を変更できます。

- 1 MENU ボタンを押す  
ダイレクトメニューが表示されます。
- 2 [☆] を選ぶ  
設定メニューが表示されます。
- 3 [ 動画時シャッター操作 ] を選ぶ



- 4 設定を変更する  
設定が反映され、撮影画面に戻ります。

長押しで撮影	シャッターボタンを押している間、動画を撮影します。
押して撮影・停止を切替	シャッターボタンを一度押すと動画の撮影を開始し、もう一度押すと撮影を停止します。



## 高画質モードで撮影する

ジダイヤル™ エフェクトを「2020」に設定しているときのみ、高画質モードで動画を撮影できます。  
高画質モードを ON にすると、通常時の 600 × 800 ピクセルの動画に加え、1080 × 1440 ピクセルの動画を同時にメモリーカードに保存します。

- ジダイヤル™で「2020」を選び、[高画質動画モード(2020のみ)]を[ON]に設定したときは、内蔵メモリーには記録できません。メモリーカードをお使いください。

- 1 MENU ボタンを押す  
ダイレクトメニューが表示されます。
- 2 [☆] を選ぶ  
設定メニューが表示されます。
- 3 [ 高画質動画モード (2020 のみ) ] を選ぶ



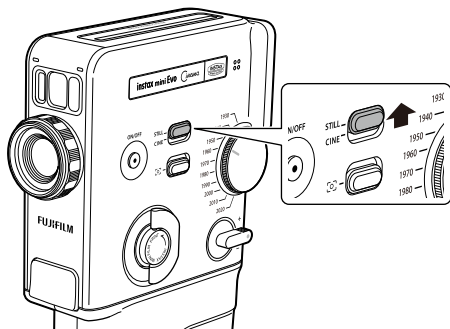
- 4 [ON] を選ぶ  
設定が反映され、撮影画面に戻ります。



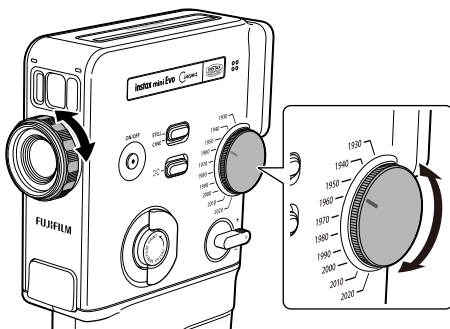
## 静止画を撮影する

基本的な静止画撮影の手順を説明します。

### 1 電源を入れ、CINE/STILL モードスイッチを「STILL」にする

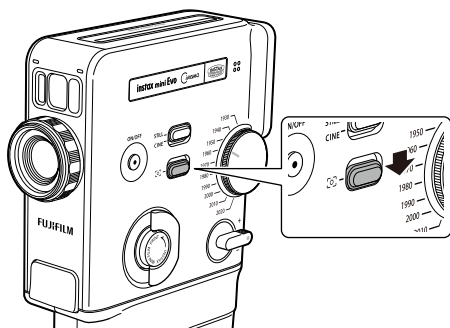


### 2 ジダイヤル™でジダイヤル™エフェクトを選び、度合い調整ダイヤルで度合いを調整する 10種類のジダイヤル™エフェクトと、それぞれの度合いを選択します。



ジダイヤル™エフェクトについて詳しくは、25ページの「ジダイヤル™エフェクト」をご覧ください。

### 3 ジダイヤル™エフェクトのフレームを適用する場合は、フレームスイッチをオンにする

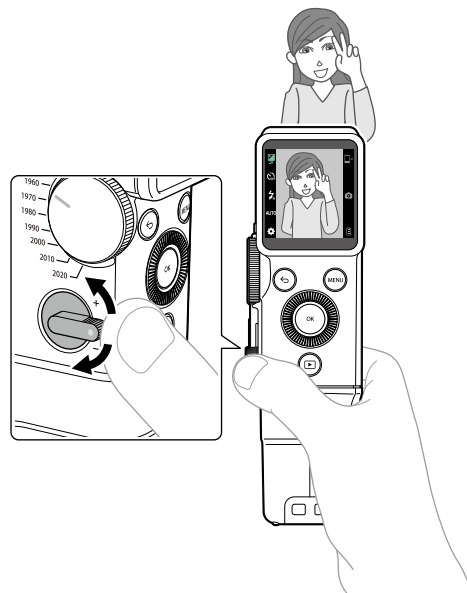


- ・フレームスイッチを下(緑色が見える位置)にスライドします。

### 4 カメラを構える

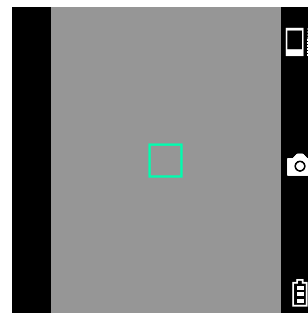
### 5 構図を決める

ズームレバーを上下に動かして、構図を調節します（ズーム機能）。"+"方向に動かすと遠くの被写体を大きく写し、"- "方向に動かすと広い範囲が写ります。



### 6 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる

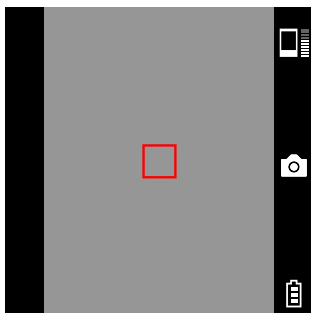
ピントが合ったとき



ピピッと音が鳴り、緑色の AF フレームが液晶モニターに表示されます。

「顔検出」が有効のときは、カメラが人物の顔を認識すると、顔の上に緑色の AF フレームが表示されます。29 ページの「ピントを合わせやすくする（静止画）」をご覧ください。

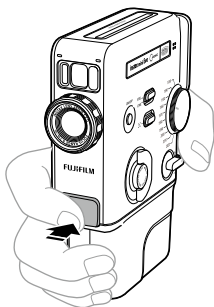
ピントが合わないとき



赤色の AF フレームが液晶モニターに表示されます。構図を変えるか、AF/AE ロックを使用してください。23 ページの「AF/AE ロックを使用して撮影する」をご覧ください。

## 7 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

静止画を撮影し、内蔵メモリーまたはメモリーカードに保存します。



- 撮影した静止画をプリントする手順は、35 ページの「静止画をプリントする」をご覧ください。

## AF/AEロックを使用して撮影する

撮影するときに、シャッターボタンを半押しし続けてピントを固定することを「AFロック」、明るさを決めて固定することを「AEロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

### 1 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる

シャッターボタンを半押しすると、AF と AE がロックされます。

### 2 シャッターボタンを半押ししたまま構図を変える

### 3 シャッターボタンを全押しして撮影する

以下の被写体を撮影するときは、ピントが合いにくくなる場合がありますので、AF/AE ロックを使用して撮影することをお勧めします。

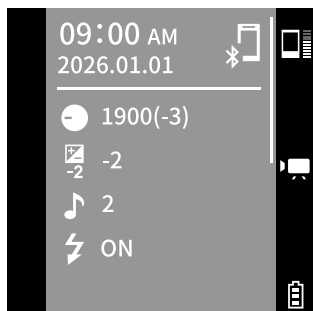
- 鏡や車のボディなど光沢のある被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収する被写体
- 煙や炎などの実体のない被写体
- 背景との明暗差が少ない被写体（背景と同色の服を着ている人物など）
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前後に被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）

# 撮影する

## 撮影情報を見る

撮影モードのときに戻るボタンを押すと、液晶モニターに以下のような情報画面が表示されます。撮影画面に戻るときは、もう一度戻るボタンを押してください。

### 動画の場合

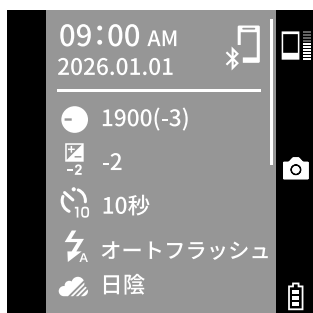


1ページ目



2ページ目

### 静止画の場合



1ページ目



2ページ目

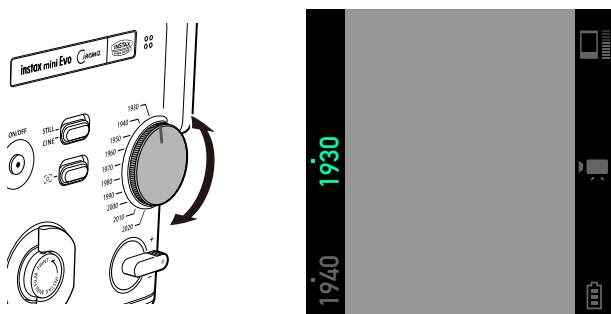
## ジダイヤル™エフェクト

10種類のジダイヤル™エフェクトを使って撮影できます。また各エフェクトの度合いを調整したり、各エフェクトに合わせたフレームを使って撮影できます。

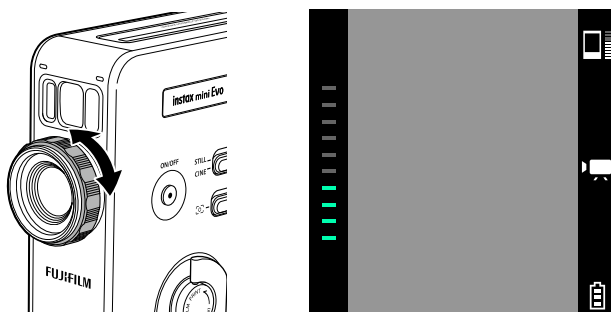
- ジダイヤル™で「2020」を選び、[高画質動画モード(2020のみ)]を[ON]に設定したときは、内蔵メモリーには記録できません。メモリーカードをお使いください。

### 1 ジダイヤル™エフェクトを選ぶ

選択したジダイヤル™エフェクトがライブビューに反映されます。

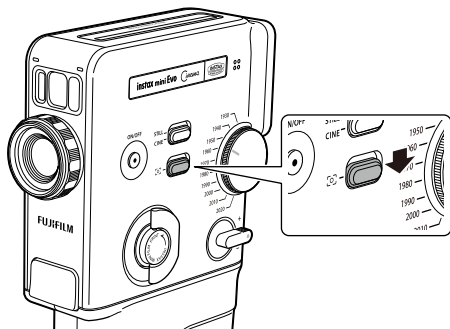


### 2 度合い調整ダイヤルを回して、ジダイヤル™エフェクトの度合いを調整する



### 3 ジダイヤル™エフェクトのフレームをオンにする場合は、フレームスイッチを下(緑色が見える位置)にする

選択しているジダイヤル™エフェクトに応じたフレームが表示されます。



## ジダイヤル™エフェクトのフレーム

ジダイヤル™の撮影フレームは液晶モニターで確認ができ、ジダイヤル™エフェクトごとに異なるフレームが用意されています。撮影フレームを適用しない場合は、フレームスイッチをオフにします。

# 撮影する

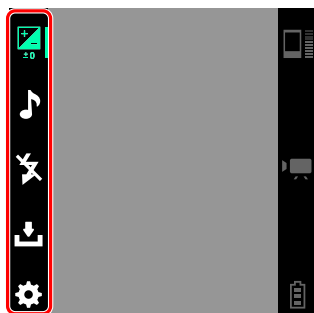
## いろいろな撮影 — ダイレクトメニュー

撮影画面で MENU ボタンを押して、ダイレクトメニューを表示すると、以下の撮影方法を変更することができます。

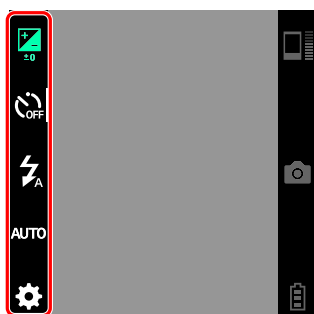
### ダイレクトメニューを表示する

#### 1 MENU ボタンを押す

ダイレクトメニューが表示されます。



動画撮影モード

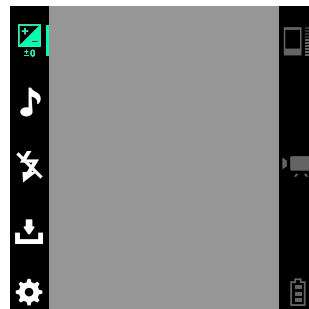


静止画撮影モード

### 露出を補正する (動画/静止画)

画像の明るさを調整します。被写体が明るすぎたり、暗すぎたり、被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が大きい場合に使用します。

#### 1 [ ] を選ぶ



#### 2 露出を補正する



- ・時計回りに回すと"+"側に露出が補正され、画像全体を明るくできます。
- ・反時計回りに回すと"- "側に露出が補正され、画像全体を暗くできます。

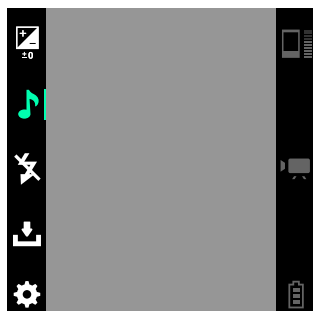
# 撮影する

## 効果音の音量を調整する (動画)

選択したジダイヤル™ エフェクトによっては、撮影中に効果音が再生されます。この効果音の音量を調整できます。

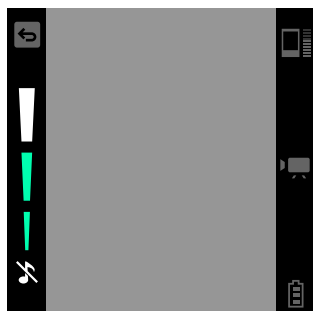
- 選択したジダイヤル™ エフェクトによっては効果音は再生されません。

### 1 [♪] を選ぶ



### 2 効果音の音量を選ぶ

効果音の音量が設定されます。

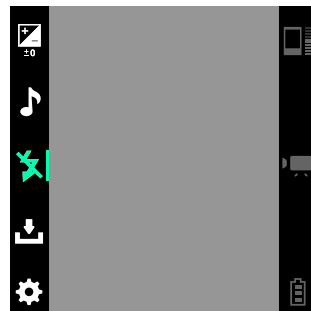


- [🔇] を選ぶと、効果音は再生されません。

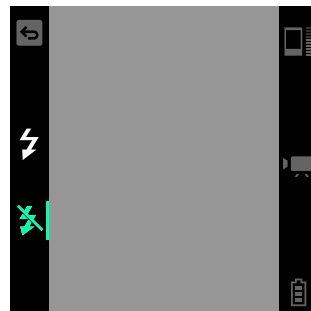
## ビデオライトを使用する (動画)

夜や暗い室内などで撮影をするときは、ビデオライトを使用して撮影してください。

### 1 [🔦] を選ぶ



### 2 ビデオライトの設定を選ぶ



#### ⚡ 強制発光

ビデオライトが発光します。逆光で被写体が暗くなっているときに使用します。

#### 🔦 発光禁止

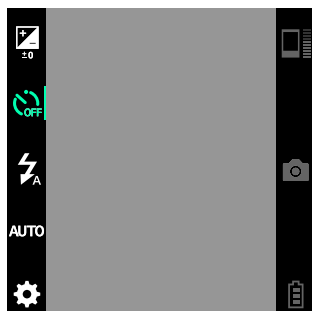
ビデオライトは発光しません。

# 撮影する

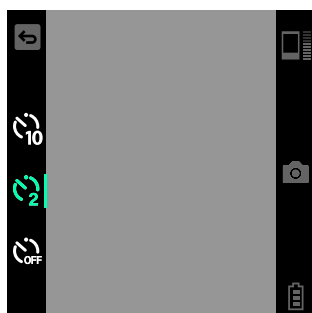
## セルフタイマーを使用して撮影する (静止画)

撮影者を含めた集合写真を撮影するときや、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐために使用します。

### 1 [C<sub>OFF</sub>] を選ぶ



### 2 [C<sub>2</sub>] (2 秒) または [C<sub>10</sub>] (10 秒) を選ぶ



- ・セルフタイマーを設定しない場合は [C<sub>OFF</sub>] (オフ) を選びます。

### 3 シャッターボタンを全押しして撮影する

設定した秒数をカウントダウンした後、撮影します。

#### [2 秒] を選んだ場合：

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅します。

#### [10 秒] を選んだ場合：

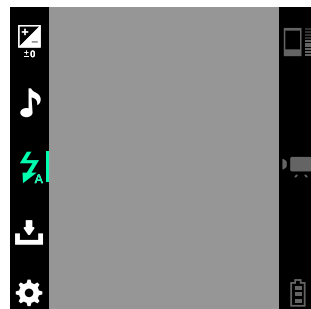
シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点灯し、撮影の 2 秒前から点滅に変わります。

セルフタイマーを途中でキャンセルするには、戻るボタンを押します。

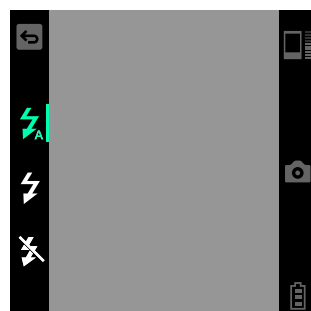
## フラッシュを使用する (静止画)

夜や暗い室内などで撮影をするときは、フラッシュを使用して撮影してください。フラッシュが発光しないように設定することもできます。

### 1 [A] を選ぶ



### 2 フラッシュの設定を選ぶ



- ・フラッシュの設定の詳細は「フラッシュの種類」を参照してください。

## ■フラッシュの種類

### ⚡ オートフラッシュ

周囲が暗い場合は、自動でフラッシュが発光します。ほとんどの状況に適した設定です。

### ⚡ 強制発光

周囲の明るさに関わらず、フラッシュが発光します。逆光で被写体が暗くなっているときに使用します。

### ✖ 発光禁止

周囲が暗いときでも、フラッシュを発光しません。フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。

フラッシュを使用せずに暗いところで撮影する場合は、カメラをテーブルなどに固定して撮影することをお勧めします。

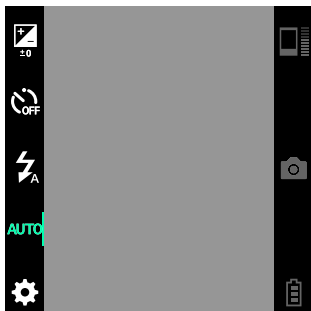


# 撮影する

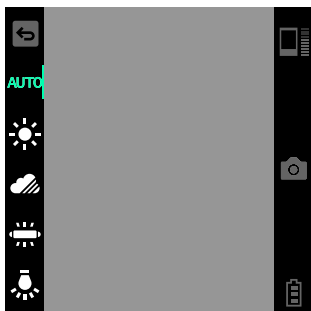
## ホワイトバランスを設定する (静止画)

太陽光や照明などの光源に合わせてホワイトバランスを設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

### 1 [AUTO] を選ぶ



### 2 いずれかの設定を選ぶ



- ・ホワイトバランスの設定の詳細は「ホワイトバランスの種類」を参照してください。

## ■ ホワイトバランスの種類

### AUTO AUTO

カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。  
通常の撮影では、AUTO をお勧めします。

### ☀️ 晴れ

晴天の屋外での撮影用です。

### ☁️ 日陰

曇天や日陰などでの撮影用です。

### 💡 蛍光灯

昼光色蛍光灯の下での撮影用です。

### 💡 電球

電球、白熱灯の下での撮影用です。

## ピントを合わせやすくする (静止画)

設定メニューを使って、顔検出機能と AF 補助光の設定を変更できます。

### 1 MENU ボタンを押す

ダイレクトメニューが表示されます。

### 2 [⚙️] を選ぶ

設定メニューが表示されます。



### 3 設定したい項目を選ぶ

設定が反映され、撮影画面に戻ります。

- ・各項目については、以下の「設定メニューの項目」をご覧ください。

## ■ 設定メニューの項目

### 顔検出

顔検出を [ON] にすると、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。

### AF補助光

[ON] を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間 AF 補助光が発光し、暗い被写体のピントを合わせやすくします。

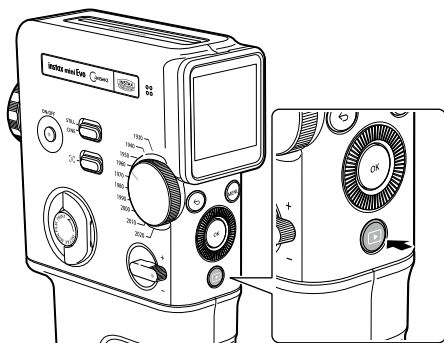
- ・シーンによっては、AF 補助光を発光してもピントが合いづらいことがあります。
- ・被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- ・人の目に近づけて発光させないでください。

# 再生する

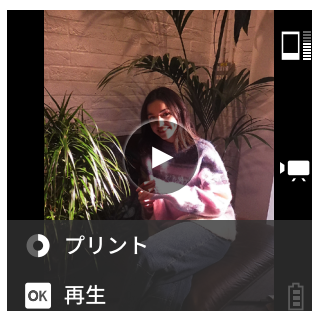
## 撮影した動画を再生する

撮影した動画を液晶モニターで再生できます。

- 1 電源を入れる
- 2 再生ボタンを押す  
再生モードになります。



- 3 再生したい動画を選ぶ  
動画の再生が始まります。

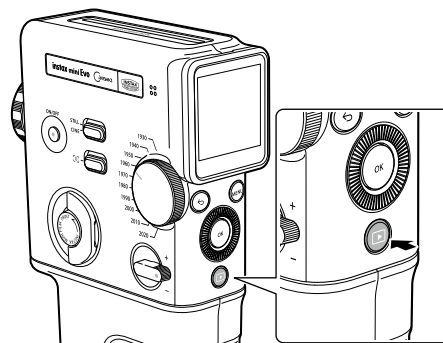


- 再生を一時停止するときは、OKボタンを押してください。
- シャッターボタンを全押しするか、再生ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

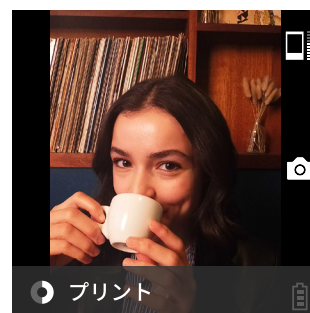
## 撮影した静止画を再生する

撮影した静止画を液晶モニターで再生できます。

- 1 電源を入れる
- 2 再生ボタンを押す  
再生モードになります。



- 3 再生したい静止画を選ぶ

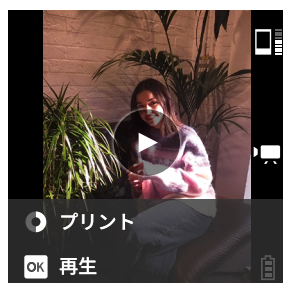
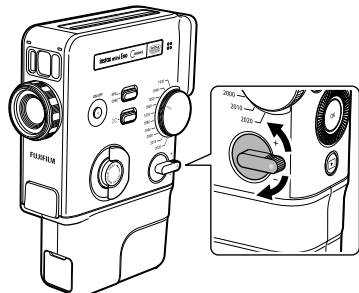


- シャッターボタンを全押しするか、再生ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。
- OKボタンを押すと、操作ガイドの表示/非表示を切り替えられます。

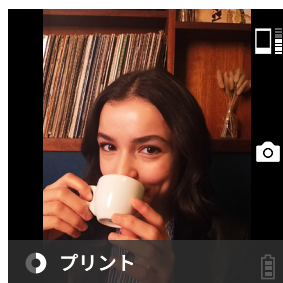
# 再生する

## ■表示する動画/静止画のコマ数を変更する

ズームレバーで動画 / 静止画の表示数を変更することができます。"－"方向に動かすと、4 枚表示になります。"+"方向に動かすと、1 枚表示に戻ります。



1 枚表示 (動画)



1 枚表示 (静止画)



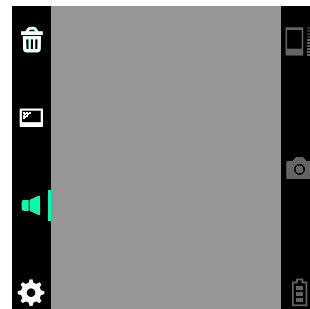
4 枚表示

## 動画の再生音量を調節する

### 1 MENU ボタンを押す

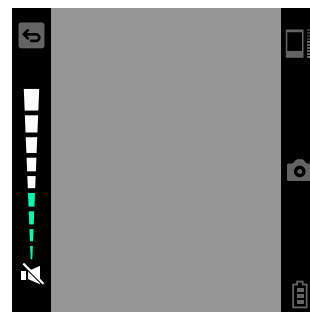
ダイレクトメニューが表示されます。

### 2 [🔊] を選ぶ



### 3 音量を選ぶ

選択した音量が設定されます。



・ [🔊] を選ぶと、音声はミュートされます。

・ 動画/静止画が撮影順に表示されます。

# 再生する

## 動画/静止画を削除する

不要な動画 / 静止画を削除することができます。

### 1枚表示のとき

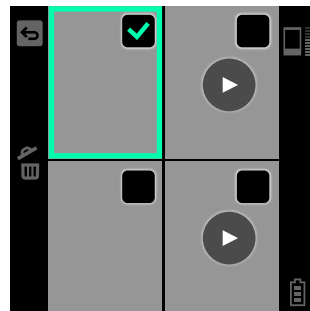
- 1 削除したい動画 / 静止画を選ぶ
- 2 MENU ボタンを押す  
ダイレクトメニューが表示されます。
- 3 [⏏] を選ぶ
- 4 削除する動画 / 静止画を確認して、OK ボタンを押す  
選択した動画 / 静止画が削除されます。



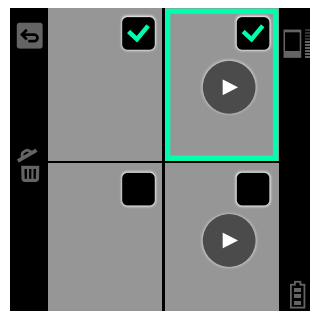
• 削除を中止するときは、戻るボタンを押してください。

### 4枚表示のとき

- 1 MENU ボタンを押す  
ダイレクトメニューが表示されます。
- 2 [⏏] を選ぶ
- 3 削除したい動画 / 静止画を選ぶ  
選択した動画 / 静止画に✓マークが表示されます。



- 4 複数の動画 / 静止画を削除したい場合は、手順3に続けて削除する動画 / 静止画を選ぶ



- 5 削除したい動画 / 静止画をすべて選択したら、画面左側の [⏏] を選ぶ



- 6 削除する動画 / 静止画を確認して、OK ボタンを押す  
選択した動画 / 静止画が削除されます。  
• 削除を中止するときは、戻るボタンを押してください。

# 再生する

## 動画/静止画をすべて削除する

不要な動画 / 静止画をすべて削除することができます。

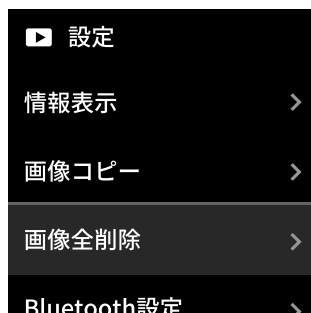
### 1 MENU ボタンを押す

ダイレクトメニューが表示されます。

### 2 [☆] を選ぶ

設定メニューが表示されます。

### 3 [画像全削除] を選ぶ



### 4 [内蔵メモリ] または [マイクロ SD] を選ぶ

選択したメディアの動画 / 静止画がすべて削除されます。



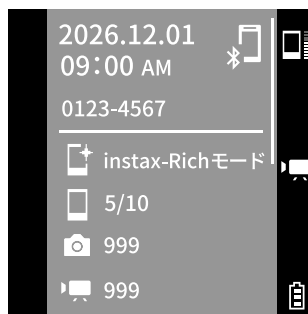
[内蔵メモリ]：カメラの内蔵メモリに保存されている動画 / 静止画をすべて削除します。

[マイクロ SD]：メモリーカードに保存されている動画 / 静止画をすべて削除します。

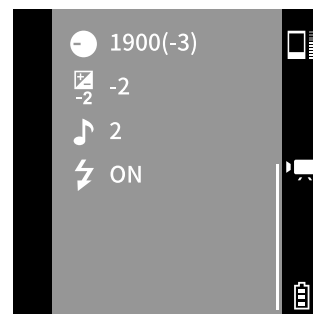
## 撮影情報を見る

再生モードのときに戻るボタンを押すと、液晶モニターに以下のような情報画面が表示されます。元の画面に戻るときは、もう一度戻るボタンを押してください。

### 動画の場合

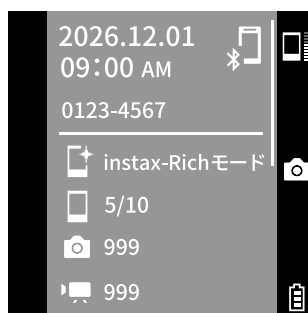


1 ページ目



2 ページ目

### 静止画の場合



1 ページ目



2 ページ目

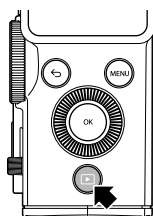
# プリントする

## 動画からプリントする

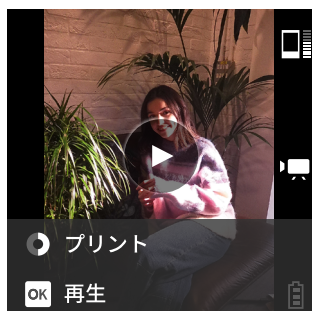
撮影した動画は、動画再生用のQRコードを付けてプリントできます。プリントの際は、動画から好きな画像を選べます。また、静止画のみのプリントも可能です。

### 1 再生ボタンを押す

再生モードになります。



### 2 動画を選ぶ



### 3 必要に応じて、プリント画像の画質と明るさの調整を行う

操作方法について詳しくは、36ページの「プリント画像の画質と明るさを設定する」をご覧ください。

### 4 プリントレバーのノブを持ち上げ、反時計回りの方向に回転する




### 5 プリントしたい画像を選び、OKボタンを押す



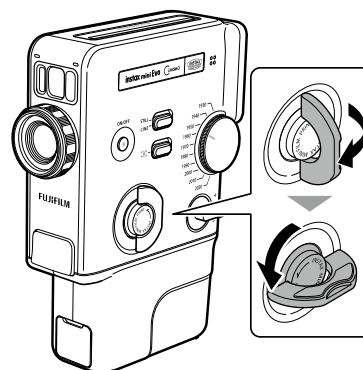
### 6 QRコードの位置を選ぶ



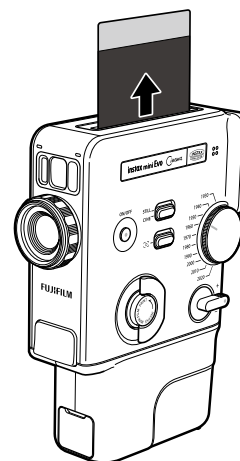
- ・静止画のみのプリントしたい場合は、 (QRコードなし) を選んでください。


### 7 プリントレバーのノブを持ち上げ、反時計回りの方向に回転する

プリントが始まります。



### 8 フィルムを排出する音が止まってから、送り出されたフィルムの先端を持って取り出す



- ・プリントした動画には、再生モードで選択時、 (プリント済み) マークが表示されます。
- ・ダイレクトメニューの「プリント」からもプリントできます。

#### ご注意

指やストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。

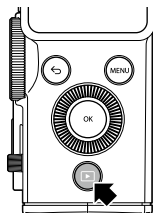
# プリントする

## 静止画をプリントする

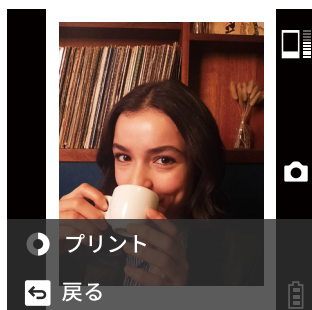
撮影した静止画をプリントできます。プリント時には、画質、明るさの調整が可能です。

### 1 再生ボタンを押す

再生モードになります。



### 2 プリントしたい静止画を選ぶ

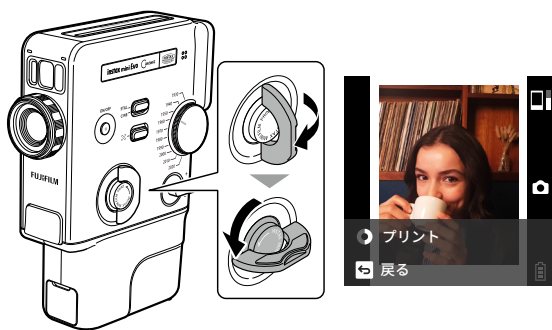


### 3 必要に応じて、プリント画像の画質と明るさの調整を行う

操作方法について詳しくは、36ページの「プリント画像の画質と明るさを設定する」をご覧ください。

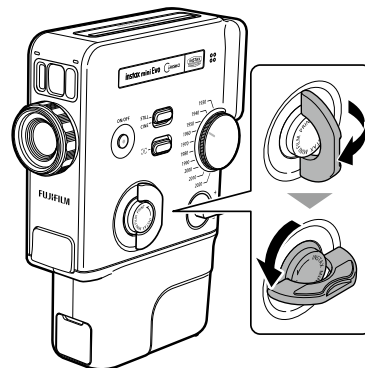
### 4 プリントレバーのノブを持ち上げ、反時計回りの方向に回転する

プリントイメージが表示されます。

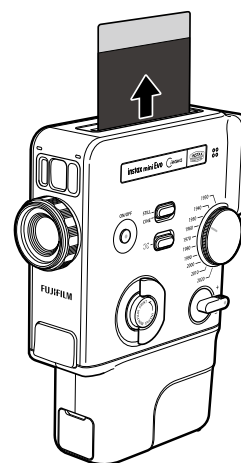



### 5 プリントレバーのノブを持ち上げ、反時計回りの方向に回転する

プリントが始まります。



### 6 フィルムを排出する音が止まってから、送り出されたフィルムの先端を持って取り出す



- プリントした静止画には、再生モードで選択時、 (プリント済み) マークが表示されます。
- ダイレクトメニューの「プリント」からもプリントできます。

#### ご注意

指やストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。

# プリントする

## フィルム残量表示について

フィルム残量は液晶モニターの右側に表示されます。



- フィルムの取り扱いについては、富士フィルム インスタントフィルム "instax™ mini" の取扱説明を参照してください。
- フィルムの現像時間は約 90 秒です（気温によって時間は変動します）。

## プリント画像の画質と明るさを設定する

### プリント画像の画質を選ぶ

プリントするときの画質を選ぶことができます。

- 1 MENU ボタンを押す**  
ダイレクトメニューが表示されます。
- 2 [⚙] を選ぶ**  
設定メニューが表示されます。
- 3 [プリント画質モード] を選ぶ**  
プリント画質モード画面が表示されます。



### 4 プリント画質モードを選ぶ

従来画質の「instax-Natural モード」または色彩表現が豊かな「instax-Rich モード」（工場出荷時の設定）に設定します。  
元の画面に戻ります。



# プリントする

---

## プリント画像の明るさを選ぶ

プリントするときの画像の明るさを調整することができます。

### 1 MENU ボタンを押す

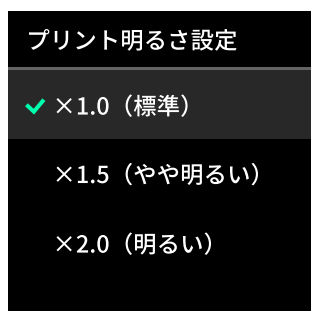
ダイレクトメニューが表示されます。

### 2 [⚙] を選ぶ

設定メニューが表示されます。

### 3 [プリント明るさ設定] を選ぶ

プリント明るさ設定画面が表示されます。



### 4 プリント明るさ設定を選ぶ

[× 1.0 (標準)], [× 1.5 (やや明るい)] または [× 2.0 (明るい)] を設定します。

元の画面に戻ります。

# 撮影データについて

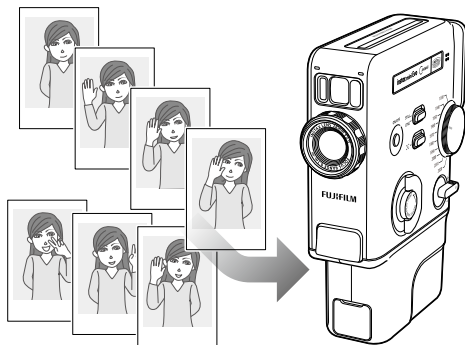
## 撮影データの保存先

メモリーカードの挿入あり/なしでデータの保存先が変わります。

### メモリーカードを挿入しない場合

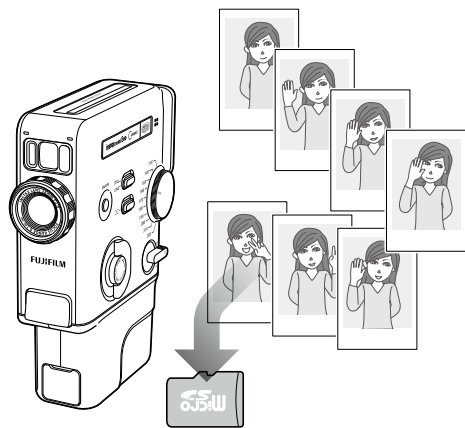
メモリーカードを挿入しないで撮影した場合、撮影データはカメラの内蔵メモリーに保存されます。

- ・内蔵メモリーの上限枚数に注意してください。



### メモリーカードを挿入した場合

メモリーカード挿入時は、データはメモリーカードに保存され、カメラの内蔵メモリーには保存されません。



- ・カメラの内蔵メモリーやメモリーカードに保存した動画/静止画は、自動で削除されません。データ容量に達した場合は、PCなどにコピーするか、必要に応じて、動画/静止画を削除してください。

## 動画/静止画撮影可能枚数

動画/静止画の撮影可能枚数の目安は以下となります。

### 撮影可能枚数

#### ■静止画

内蔵メモリー	撮影可能枚数
ピクセル	1920 × 2560
枚数	50枚

microSDメモリーカード	撮影可能枚数
ピクセル	1920 × 2560
枚数	1GBあたり約800枚

#### ■動画/通常時

内蔵メモリー	撮影可能本数
ピクセル	600 × 800
本数	約10本(1本=15秒)

microSDメモリーカード	撮影可能本数
ピクセル	600 × 800
本数	1GBあたり約162本(1本=15秒)

#### ■動画/高画質モード(2020のみ)時

内蔵メモリー	撮影可能本数
ピクセル	1080 × 1440
本数	0本(不可)

microSDメモリーカード	撮影可能本数
ピクセル	1080 × 1440
本数	1GBあたり約37本(1本=15秒)

# 設定メニュー

## 設定メニューの操作と項目

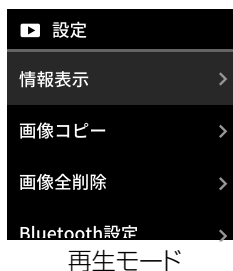
設定メニューから各種設定の変更ができます。

### 1 MENU ボタンを押す

ダイレクトメニューが表示されます。

### 2 [☆] を選ぶ

撮影モードと再生モードに応じた設定メニューが表示されます。



### 3 項目を選ぶ

- 各項目については、「設定メニューの項目」を参照してください。(39ページ)

### 4 設定を変更する

### 5 OK ボタンを押す

設定が反映され、元の画面に戻ります。

## 設定メニューの項目

### ■ 動画撮影モードのとき

#### 情報表示

撮影時の設定値などが表示されます。

#### 動画時シャッター操作

動画撮影時のシャッターボタンの操作方法を選びます。[長押しで撮影]を選ぶと、シャッターボタンを押している間、動画が撮影されます。[押しで撮影・停止を切替]を選ぶと、シャッターボタンを一度押すと撮影がスタートし、もう一度押すと撮影が終了します。

#### 高画質動画モード(2020のみ)

ジダイヤル™ エフェクトを「2020」に設定しているときに[ON]を選ぶと、高画質で撮影できます。使用しないときは[OFF]を選んでください。

#### Bluetooth設定

[ペアリング登録]：

お使いの機器と初めて Bluetooth で接続する場合は、機器同士をペアリングする必要があります。ペアリングについては、「ペアリング設定」をご覧ください。

[ペアリング削除]：

ペアリング登録されている機器の情報を削除できます。

[情報表示]：

Bluetooth アドレス、本体名称、ペアリング登録端末を表示します。

#### プリント画質モード

従来画質の [instax-Natural モード]、または色彩表現が豊かな [instax-Rich モード] (工場出荷時の設定) に設定します。

#### プリント明るさ設定

[× 1.0 (標準)]、[× 1.5 (やや明るい)] または [× 2.0 (明るい)] を設定します。

#### 日時設定

日付と時刻を設定します。

#### 言語/LANG.

液晶モニターに表示する言語を設定します。

#### 音量設定

操作音、シャッター音、起動音の音量を設定します。

音を消したい場合は、[🔇] に設定します。

#### 自動電源OFF

カメラを操作しなかったときに、自動で電源が切れるまでの時間を設定します。[2 分]、[5 分]、[OFF] から選択できます。

#### リセット

設定値を工場出荷時の設定に戻します。

日時設定で設定した日付と時刻はリセットされません。

# 設定メニュー

## フォーマット

カメラの内蔵メモリーまたはカードスロットに挿入されているメモリーカードを初期化します。保存されている動画 / 静止画はすべて削除されます。

## バージョンアップ

ファームウェアのバージョンアップを行います。  
詳しくは「ファームウェアをバージョンアップする」をご覧ください。

## ■静止画撮影モードのとき

### 情報表示

撮影時の設定値などが表示されます。

### 顔検出

顔検出を [ON] にすると、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。

### AF補助光

[ON] を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間 AF 補助光が発光し、暗い被写体のピントを合わせやすくします。

## Bluetooth設定

[ペアリング登録] :

お使いの機器と初めて Bluetooth で接続する場合は、機器同士をペアリングする必要があります。ペアリングについては、「ペアリング設定」をご覧ください。(16 ページ)

[ペアリング削除] :

ペアリング登録されている機器の情報を削除できます。

[情報表示] :

Bluetooth アドレス、本体名称、ペアリング登録端末を表示します。

## プリント画質モード

従来画質の [instax-Natural モード]、または色彩表現が豊かな [instax-Rich モード] (工場出荷時の設定) に設定します。

## プリント明るさ設定

[× 1.0 (標準)], [× 1.5 (やや明るい)] または [× 2.0 (明るい)] を設定します。

## 日時設定

日付と時刻を設定します。

## 言語/LANG.

液晶モニターに表示する言語を設定します。

## 音量設定

操作音、シャッター音、起動音の音量を設定します。  
音を消したい場合は、[🔇] に設定します。

## 自動電源OFF

カメラを操作しなかったときに、自動で電源が切れるまでの時間を設定します。[2 分]、[5 分]、[OFF] から選択できます。

## リセット

設定値を工場出荷時の設定に戻します。  
日時設定で設定した日付と時刻はリセットされません。

## フォーマット

カメラの内蔵メモリーまたはカードスロットに挿入されているメモリーカードを初期化します。保存されている動画 / 静止画はすべて削除されます。

## バージョンアップ

ファームウェアのバージョンアップを行います。  
詳しくは「ファームウェアをバージョンアップする」をご覧ください。

## ■再生モードのとき

### 情報表示

撮影した動画 / 静止画の撮影情報が表示されます。

### 画像コピー

動画 / 静止画を内蔵メモリーからメモリーカードへ、またはメモリーカードから内蔵メモリーにコピーします。

以下の手順で行います。

1. 再生メニューから [画像コピー] を選ぶ
2. コピー元とコピー先を選び、OK ボタンを押す
3. [1 コマ] または [全コマ] を選び、OK ボタンを押す
4. [1 コマ] を選んだ場合は、コピーしたい動画 / 静止画を表示して、OK ボタンを押すと、選択した動画 / 静止画がコピーされます。  
[全コマ] を選んだ場合は、OK ボタンを押すと、コピーが開始されます。

### 画像全削除

内蔵メモリーまたはメモリーカードの動画 / 静止画を全コマまとめて削除します。

## Bluetooth設定

[ペアリング登録] :

お使いの機器と初めて Bluetooth で接続する場合は、機器同士をペアリングする必要があります。ペアリングについては、「ペアリング設定」をご覧ください。(16 ページ)

[ペアリング削除] :

ペアリング登録されている機器の情報を削除できます。

[情報表示] :

Bluetooth アドレス、本体名称、ペアリング登録端末を表示します。

## プリント画質モード

従来画質の [instax-Natural モード]、または色彩表現が豊かな [instax-Rich モード] (工場出荷時の設定) に設定します。

## プリント明るさ設定

[× 1.0 (標準)], [× 1.5 (やや明るい)] または [× 2.0 (明るい)] を設定します。

## 日時設定

日付と時刻を設定します。

# 設定メニュー

---

## 言語/LANG.

液晶モニターに表示する言語を設定します。

## 音量設定

操作音、シャッター音、起動音の音量を設定します。

音を消したい場合は、[M] を選択します。

## 自動電源OFF

カメラを操作しなかったときに、自動で電源が切れるまでの時間を設定します。[2 分]、[5 分]、[OFF] から選択できます。

## リセット

設定値を工場出荷時の設定に戻します。

日時設定で設定した日付と時刻はリセットされません。

## フォーマット

カメラの内蔵メモリーまたはカードスロットに挿入されているメモリーカードを初期化します。保存されている動画 / 静止画はすべて削除されます。

## バージョンアップ

ファームウェアのバージョンアップを行います。

詳しくは「ファームウェアをバージョンアップする」をご覧ください。

### ■ファームウェアをバージョンアップする

ファームウェアのバージョンアップは 2 通りあります。PC 経由でバージョンアップする場合は、あらかじめメモリーカードを用意してください。

#### ●スマートフォンアプリ「instax mini Evo™」から行う

1. スマートフォンアプリ「instax mini Evo™」を起動する
2. 設定メニューの「カメラのバージョンアップ確認」をタップする
3. [OK] をタップする
4. 画面の指示に従って操作する

#### ●カメラ本体から行う

1. PC など富士フイルムのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードして、メモリーカードのルートディレクトリーにコピーする
2. ファームウェアをコピーしたメモリーカードをカメラのカードスロットに挿入する
3. 設定メニューから「バージョンアップ」を選ぶ
4. 画面の指示に従って操作する

# アプリについて

## スマートフォンアプリ連携で使える機能

スマートフォンアプリ「instax mini Evo™」と連携すると以下の機能が使用できます。



### ■ ギャラリー機能

カメラで撮影した動画や静止画を、スマートフォンアプリへ BluetoothもしくはWi-Fiで転送できます。転送した動画や静止画はアプリ内のギャラリーで閲覧できます。

### ■ 動画編集

スマートフォンアプリへ転送した動画を編集できます。アプリでは複数の動画の組み合わせ、オープニングやエンディングの追加、ポスターテンプレートの追加ができます。

### ■ ダイレクトプリント

スマートフォン内の画像をカメラ本体に送信してプリントできます。

### ■ プリント動画/静止画保存

カメラからプリントした画像をスマートフォンアプリに送信すると、スマートフォン内にinstax™フレーム付き動画もしくは静止画として保存できます。

### ■ リモート撮影

フラッシュやセルフタイマーをスマートフォンアプリで設定して、リモート撮影できます。

## スマートフォンアプリを設定する

ペアリング登録する前に、ご使用のスマートフォンに「instax mini Evo™」アプリをインストールしてください。

- Android OS のスマートフォンをご使用の場合は、Google Play から「instax mini Evo™」を検索し、インストールしてください。

\* Android OSのスマートフォンの動作環境: Android Ver 10以上、かつGoogle Playがインストールされている

- iOS のスマートフォンをご使用の場合は、App Store から「instax mini Evo™」を検索し、インストールしてください。

\* iOSのスマートフォンの動作環境: iOS Ver 15以上

スマートフォンの機種によっては、スマートフォンアプリをインストールし、上記の動作環境を満たしている場合でも、使用できない場合があります。



iOS



Android OS

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- 1 あらかじめ端末にダウンロードしたアプリ「instax mini Evo™」を起動する
- 2 写真やメディアにアクセスする確認事項をご確認いただき、[許可]をタップする
- 3 利用規約をご確認いただき、[同意する]をタップする
- 4 利用地域を選んで、[OK]をタップする  
国内で使用する場合は、[上記以外の地域]を選びます。
- 5 プライバシーポリシーをご確認いただき、[同意する]をタップする
- 6 [instax mini Evo Cinema] をタップして、接続するカメラを選び、[OK] をタップする
- 7 [Bluetooth 接続設定へ] をタップする
- 8 [許可] をタップする

## **9 お使いのカメラが検出されたら、[ 接続 ] をタップする**

複数のカメラが検出された場合は、接続したいカメラを一覧から選択してください。

カメラの識別名（SSID）は、カメラの底面に記載されています。

## **10 [ 次へ ] をタップする**

## **11 簡易使用説明が表示されるのでお読みいただき、[OK] をタップする**

アプリの準備が完了します。

# その他の情報

## 仕様

### ■カメラ機能

撮像素子	1/5型CMOS原色フィルター
有効画素数	約500万画素
記録画素数	静止画撮影時: 1920 × 2560ピクセル 動画撮影/通常時: 600 × 800ピクセル 動画撮影/高画質モード (2020のみ)時: 1080 × 1440ピクセル
記録メディア	内蔵メモリー、microSD/microSDHC/ microSDXC (～256GB)メモリー カード
記録枚数	(静止画) 内蔵メモリー: 約50枚 microSD/microSDHCメモリーカード 装着時、1GBあたり1920 × 2560ピ クセル 約800枚 (動画/通常時) 内蔵メモリー: 約10本 microSD/microSDHCメモリーカード 装着時、1GBあたり600 × 800ピク セル 約162本(1本=15秒) (動画/高画質モード(2020のみ)時) 内蔵メモリー: 0本(不可) microSD/microSDHCメモリーカード 装着時、1GBあたり1080 × 1440ピ クセル 約37本(1本=15秒)
静止画記録方式	JPEG DCF準拠 Exif Ver.2.3
焦点距離	f=28mm (35mmフィルム換算)
絞り	F2.0
オートフォーカス	シングルAF、顔認識AF
撮影可能距離	10 cm ～ ∞
シャッタースピード	1/4秒 ～ 1/8000秒(自動切換え)
撮影感度	ISO100 ～ 1600(自動切換え)
露出制御	プログラムAE
露出補正	-2.0EV ～ +2.0EV (1/3EVステップ)
測光方式	TTL256分割測光、マルチ測光
ホワイトバランス	AUTO、晴れ、日陰、蛍光灯、電球
フラッシュ	オート/強制発光/発光禁止 撮影可能範囲 約50cm～1.5m
セルフタイマー	約10秒/約2秒

動画記録方式	MP4 MPEG-4 AVC/H.264、AAC
動画フレームレート	24p
動画ビットレート	STANDARD: 2.5 Mbps HIGH-QUALITY: 9.0 Mbps
ジダイヤル™ エフェクト	ジダイヤル™エフェクト 10種・度合い調 整機能付き (1930/1940/1950/ 1960/1970/1980/1990/ 2000/2010/2020)

### ■プリント機能

露光画素数	1600 × 600 ドット (スマートフォンアプリからの印刷時は、 800 × 600 ドット)
露光解像度	25ドット/mm×12.5ドット/mm (635 × 318 dpi、40×80 μmドットピッチ) スマホアプリからの印刷時は、 12.5ドット/mm(318 dpi、80 μmドッ トピッチ)
露光階調	RGB 各色256階調
プリント可能画 像 フォーマット	カメラ内蔵メモリー及びmicroSD/ microSDHC/SDXCメモリーカードか らの場合: 本機で撮影したJPEG画像 スマートフォンからの場合: JPEG、PNG、HEIF
プリント出力時間	約16秒 *起動直後にinstax-Richモード™を使 用して印刷する場合は、約7秒加算さ れます。
プリント機能	内蔵メモリー内の画像+メモリーカード 内の画像をプリント可能

### ■その他

スマートフォンアプ リ連携機能	スマートフォン画像プリント機能、リモ ート撮影機能、プリント済動画/静止画デー タ転送機能、バージョンアップ機能
液晶モニター	1.54型TFTカラー液晶モニター 画素数: 約17万ドット
外 部 イ ン タ ー フェース	USB Type-C (充電専用)
Bluetooth	Bluetooth Ver.5.4 (Bluetooth low energy)



無線LAN機能	IEEE802.11b/g/n(2.4GHz帯のみ) 暗号化方式 WPA/WPA2 mixed mode、WPA3 アクセス方式 インフラストラクチャーモード
電源	リチウムイオン電池(内蔵型)
消費電力	電源オフ時: 約0.3 mW 電源オン時: 約2.3 W(動画撮影中)
自動電源オフ機能	5分/2分/オフ ※自動電源オフ機能をオフにすると、本製品の消費電力が増加します。
プリント可能枚数	約100枚(フル充電から) ※使用条件によりプリント枚数は異なります。
充電時間	約2 ~ 3時間 ※気温によって異なります。
本体外形寸法	39.4 mm × 132.5 mm × 100.1 mm (突起部除く)
本体質量	約270g(フィルムカートリッジ、記録メディア含まず)
動作環境	温度: 5℃ ~ 40℃ 湿度: 20% ~ 80%(結露しないこと)
使用フィルム	富士フィルム インスタントフィルム instax™ mini (別売)

\* 上記の仕様は、性能向上のため変更する場合があります。

このようなときは

故障とお考えになる前に、以下の項目をお調べください。処置を行っても改善されない場合は、弊社サービスセンターに修理をご依頼ください。  
または下記のウェブサイトアクセスしてください。  
富士フィルムホームページ: <https://fujifilm.jp/>  
使用中このようなときは…

このようなきは	考えられる原因と対処法
電源が入らない。	バッテリーが消耗している可能性があります。カメラを充電してください。
バッテリーの消耗が早い。	非常に寒い所でカメラを使用していると、バッテリーの消耗が早くなります。撮影前にカメラを温かくしておいてください。
使用中に電源が切れた。	バッテリー残量が少なくなっている可能性があります。カメラを充電してください。
充電が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• USB 電源アダプタのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。</li><li>• 充電をするときは電源を切ってください。電源が入った状態では充電されません。</li></ul>
充電に時間が掛かりすぎる。	低温時は、充電に時間が掛かる場合があります。
充電中に充電ランプが点滅する。	周囲の温度が+ 5℃~+ 40℃の範囲で充電してください。この範囲でも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電源が入っているか確認してください。</li><li>• バッテリー残量が少なくなっている場合は、充電してください。</li><li>• 内蔵メモリーまたはメモリーカードがいっぱいになっている場合は、新しいメモリーカードを入れるか、不要な動画 / 静止画を削除してください。</li><li>• 本機でフォーマットしたメモリーカードを使用してください。</li><li>• メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れている場合は乾いた柔らかい布でふいてください。</li><li>• メモリーカードが壊れている可能性があります。新品のメモリーカードを入れてください。</li></ul>
静止画撮影時にピントが合わせられない。	ピントが合いにくい被写体を撮影する場合は、AF/AE ロックを使用して撮影してください。

このようなときは	考えられる原因と対処法
フラッシュが発光しない。	フラッシュの設定で発光禁止が選ばれていませんか。発光禁止以外の設定を選んでください。
フラッシュが発光したのに、画像が暗い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>被写体から離れすぎていませんか。フラッシュ撮影が可能な距離内で撮影してください。</li> <li>フラッシュを指などで塞がないよう、カメラを正しく構えてください。</li> </ul>
画像がぼやけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>レンズに指紋などの汚れが付いている場合は、レンズを清掃してください。</li> <li>AF フレームが緑色になっていることを確認して撮影してください。</li> </ul>
カメラが正常に作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時的に誤作動を起こしている可能性があります。リセットボタンを押してください。それでも正常に作動しない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。</li> <li>バッテリーが消耗している可能性があります。カメラを充電してください。</li> </ul>
フィルムカートリッジが入らない、またはスムーズに入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士フィルム インスタントフィルム instax™ mini を使用してください（他のフィルムは使用できません）。</li> <li>フィルムカートリッジの黄色のマークとカメラの位置合わせマーク（黄色）を合わせて入れてください。</li> </ul>
フィルムが排出されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>振動や落下などの衝撃で、フィルムがずれている可能性があります。新しいフィルムカートリッジを入れてください。</li> <li>フィルムが詰まっている場合は電源を入れ直してください。それでも改善されない場合は、詰まったフィルムを取り除いてから、新しいフィルムカートリッジを入れてください。</li> </ul>
でき上がったプリントの一部または全部が白くなっている。	フィルムを使い切るまで、フィルムドアを開けないでください。フィルムが残っている状態でフィルムドアを開けるとフィルムが感光して、感光した部分が白くなります。
プリントにむらがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントされた直後にプリントを振る、曲げる、折る、押さえるなどしないでください。</li> <li>フィルム排出口を塞がないでください。</li> </ul>
カメラが動作不具合を起こし、電源が切れない。	micro SD カードスロットの横にあるリセットボタンを押すと、電源を切ることができます。

## 安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影・プリント以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。

## ⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ⚠ 以下のような場合は、直ちにUSBケーブルを外するとともに、電源を切ってカメラの使用を止め、お客様相談窓口、販売店にご相談ください。そのまま利用を続けると、発熱・発火の原因になることがあります。
  - ・カメラが熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常が発生したとき
  - ・カメラを水中に落下させたり、内部に水または金属や異物などが入ったとき
- ⚠ カメラにはバッテリーが組み込まれているので、加熱や火中への投入、落としたり、衝撃を加えないでください。破裂の原因となる場合があります。
- ⚠ 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。
- ⚠ カメラをぬれた手で触らないでください。感電の原因となることがあります。
- ⚠ 小さいお子様の手の届くところに置かないでください。けがの原因になることがあります。

## ⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- ⚠ 絶対に分解しないでください。けがの原因となることがあります。
- ⚠ 故障した場合は、絶対に自分で修理しようとせずにお買い上げ店にご相談ください。
- ⚠ 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。けがの原因となることがあります。
- ⚠ フィルムドア内部の部品、突起物には触れないでください。けがや故障の原因となることがあります。
- ⚠ 充電が完了したら速やかにUSB Type-Cケーブルを外してください。
- ⚠ 本製品を布や布団でおおったりしないでください。熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU(欧州連合)の要求事項を、製品が満たしていることを証明するものです。(CEとはヨーロッパ認定(Conformité Européenne)の略)

## 取扱上のお願い

### ■ カメラの取り扱い

1. フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。
2. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
3. 市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。
4. 汚れをふき取るのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
5. 閉め切った自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
6. ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにもフィルムにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。
7. このカメラの使用温度範囲は +5℃ から +40℃ です。
8. 撮影される場合は、著作権、肖像権、プライバシーなどの他人の権利を侵害したり、公序良俗に反したりしないように十分ご配慮ください。他人の権利を侵害する行為、公序良俗に反する行為や迷惑行為は、法令による処罰の対象や損害賠償請求の対象となります。
9. このカメラは一般のご家庭向けのものです。業務用の撮影など、大量に撮影する用途には適しておりません。

### ■ 液晶モニターの取り扱い

液晶モニターは傷がつきやすいので、硬いものでこすらないように注意してください。傷を防止するために、市販の保護シートを貼ることをお勧めします。

### ■ 充電について

バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

- ・ 付属のUSB Type-Cケーブルを使用して充電できます。
  - 充電は周囲の温度が+5℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
  - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなる場合があります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。

### ■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。

### ■ 使用上のご注意

長時間使用していると、カメラ本体が熱を帯びますが、故障ではありません。

### ■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

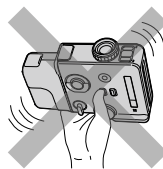
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

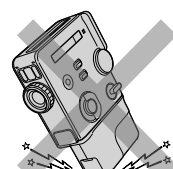
VCCI-B

■ 本製品が取得している認証関連のマークは、フィルムカートリッジ室内に表示されています。

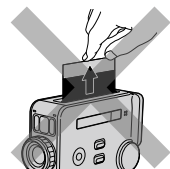
### ■ プリント中の注意事項



プリント中にカメラを振らない



プリント中にカメラを落とさない



プリント中にフィルム排出口を塞がない

### ■ フィルム、写真の取り扱い

フィルム、写真の取り扱いかたについては、富士フィルム インスタントフィルム"instax™ mini"の取扱説明を参照してください。

1. フィルムは、涼しい場所に保管してください。特に閉め切った自動車の中などの極端に高温の場所に長時間放置しないでください。
2. フィルムに穴をあけたり、破いたり、切ったりしないでください。フィルムが損傷した場合は、使用しないでください。
3. カメラに入れたフィルムは、できるだけ早く使用してください。
4. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでから撮影してください。
5. フィルムは有効期限内にお使いください。
6. 空港の預け入れ荷物検査などでの強いX線照射を避けてください。未使用のフィルムにカブリなどの影響が出る場合があります。手荷物としての機内持ち込みをお勧めします(詳しくは各空港でご確認ください)。
7. 写真は強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存してください。
8. このフィルムの中には黒色苛性アルカリのペーストが入っていますので、切ったり分解しないでください。特に乳幼児やペットが口に入れないよう注意してください。また、ペーストが皮ふや衣服につかないようにしてください。
9. 誤って未使用フィルムのペーストにふれたときは、速やかに水で十分に洗ってください。また、目や口に入った場合は、洗った後に医師の診断を受けてください。なお、このフィルムは、カメラなどから出てから約10分間でアルカリ性が弱まります。

## その他の情報

10. 撮影した写真を密閉した袋などに入れると、写真が変色する場合がありますので、密閉した状態では保管しないでください。

### ■ フィルムやでき上がった写真を取り扱うときの注意

詳細は、富士フィルム インスタントフィルム"instax™ mini"の取扱説明を参照してください。



### 無線LAN/Bluetooth® 機器使用上の注意事項

**重要!** 本製品に搭載されている無線LAN/Bluetoothをご使用になる前に必ずお読みください。

#### ■ 本製品は無線LAN/Bluetooth機器としてお使いください。

無線LAN/Bluetooth機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線LAN/Bluetooth機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときにはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

#### ■ 無線LAN/Bluetooth機能はお買い求めいただいた国での利用を前提としています。

本製品の無線LAN/Bluetooth機能はお買い求めいただいた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使いいただく国の法律を順守してください。お買い求めいただいた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

#### ■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

#### ■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください(環境により電波が届かないことがあります)。また、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

### ■ 使用周波数帯

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。最大出力は無線LAN使用時9.44mW、Bluetooth使用時3.07mWとなります。

### ■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- ・産業・科学・医療用機器
  - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
1. 構内無線局(免許を要する無線局)
  2. 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

### ■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

### ■ 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- ・本製品を分解、または改造すること
- ・本製品上の証明ラベルをはがすこと

### ■ 商標について

■ Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、富士フィルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

### ■ 本機の無線方式について

#### 2.4 FH 1

2.4: 2.4GHz帯を使用する無線設備

FH: 変調方式は周波数ホッピング(FH-SS方式)

1: 想定干渉距離が10m以内

全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

#### 2.4DS/OF4

2.4: 2.4GHz帯を使用する無線設備

DS/OF: 変調方式は直接拡散(DSSS方式)と直交周波数多重分割(OFDM方式)

4: 想定干渉距離が40m以内

全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可



## カメラを廃棄するときの注意

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクルできます。

本機が不要になりましたら、リチウムイオン電池は商品廃棄時に取り出し、一般ゴミなどと一緒に廃棄はせず、充電式電池の排出協力店・排出協力自治体へお持ちください。

## 小形充電式電池のリサイクルについて



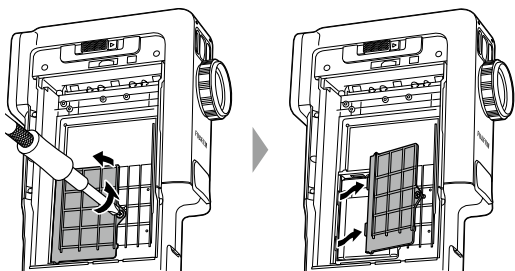
小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りの排出協力店・排出協力自治体にある充電式電池回収BOXに入れてください。詳細は、「一般社団法人JBRC」のホームページをご参照ください。

<https://www.jbrc.com/>

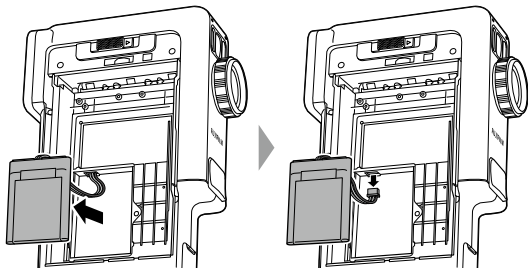
## バッテリーを取り外す

本機を廃棄するときは、本機からバッテリーを取り出し、排出協力店・自治体の指示に従い廃棄してください。

- 1 フィルムドアを開けてフィルムカートリッジを取り出す
- 2 ドライバー（市販品）を使って、バッテリーカバーを外す



- 3 配線を引き出し、コネクタを外し、バッテリーを抜く



## アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。

ご購入店または富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお申し出ください。

それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口をご利用ください。

### ■ 無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、購入店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

\*詳しくは、製品保証規定をご覧ください。

### ■ 有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、製品保証規定の「2.」の場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

### ■ 修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

### ■ 修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

### ■ 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や弊社サービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなる場合があります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
5. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
6. 修理期間は故障内容により多少異なりますが、普通修理品の場合は弊社サービスステーションで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

### ■ 海外旅行中の故障

本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、帰国された後、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

## 個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口あるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

● 本製品に関するお問い合わせ  
富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口  
0570-04-1640



● 修理に関するお問い合わせ  
富士フイルム フィルムカメラ修理相談窓口  
0570-06-6092



▶ お問い合わせに関する最新情報などは弊社ホームページ（QRコードよりアクセス）でご確認ください。  
▶ 富士フイルムグループでは、お客さまからのお問い合わせ内容を正確に把握するために録音させていただくことがあります。

最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。  
富士フイルムホームページ: <https://www.fujifilm.com/jp/ja>

FUJIFILM, instax, instax mini Evo Cinema は富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

### Independent JPEG Group ライセンス

本ソフトウェアの一部は Independent JPEG Group の著作物に基づくものです。

© 2026 FUJIFILM Corporation. All rights reserved.

# FUJIFILM

## FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN